

FREE



NICHIGO PRESS

オーストラリアの日本語総合誌 日豪プレス Since 1977
nichigopress.jp Vol.47 No.537

NOV & DEC 2023

メルボルン特集

「人生を変える1杯」をコーヒー文化の首都で味わう



【対談】セレステ・コラボスさん (ビクトリア州日豪ビジネス協会CEO)

おいしいもの食べ隊! ラーメン激戦区のシドニーから3杯を厳選



We're excited to bring you our new **MAKOTO Range!**

The Kikkoman Makoto Range is gluten free, and will really bring that authentic flavour to your choice of ingredients and dishes.



Available Now!

kikkoman®



オーストラリアに暮らす日本人必携の

医療保険

豪州一時滞在者専用 メディパック

メディパックの特徴は...

- 日本人にとって頻度が高い歯科治療、メガネ関連のカバーが充実
- ご予算とニーズに合わせて複数のプランをご用意
- 他のオーストラリア民間医療保険からの切り替え特典あり

Aon Risk Services Australia Limited

お問い合わせは 関口、斉藤 まで

TEL: (02) 9253-7075

(日本語直通)

E-mail: au.jis@aon.com

www.aon.com.au

AON

ORION STAR
PROPERTY

豪州政府公認不動産会社
居住物件購入・不動産投資・運用の無料コンサルティング
売却・レント管理サービス提供

YouTube

知らないで損!

豪州不動産無料講座開講中

@orionstarproperty_japan

Scan it



Customer Reviews

何度考え直しても要望に合わせて各地の物件を丁寧かつ根気よく紹介してくれたことで、最終的に納得できる物件を見つけることができました。

- Uさん

豪州の不動産事情や手続きなどについて、ほぼ知らない中での不動産購入でしたが、その都度細部に至るまで丁寧に相談に応じて頂き、感謝します。

- Tさん

347回 オリオンスタープロパティ不動産セミナー

知っておくべき オーストラリア不動産の特徴

不動産市場、住宅ローン、購入手続き、物件選定ノウハウ、スーパーニュエーションを利用した物件購入を分かりやすく説明!

日程 11月25日(土) 18:00 / 11月28日(火) 10:00
2024年2月13日(火) 18:00 / 2月24日(土) 10:00

会場 Suite502, 10 Help St Chatswood
オリオン・スター・プロパティセミナールーム (Chatswood駅から徒歩2分・駐車場あり)

セミナーの申し込みはQRコードをスキャンして下さい

または、氏名、メールアドレス、参加希望日を明記の上、SMSにてご連絡ください

0468 830 980 (担当: 沖野)



参加無料

経歴15年以上の
不動産専門家に
なんでも日本語で
相談できますよ!

オリオンスタープロパティ代表
ジャズミン・キム

A: Suite 502 10 Help st, Chatswood NSW

T: 02 8094 9288 / 0423 541 023

H: www.orionstarproperty.com

東京での不動産物件は、 叶屋不動産へ!!



- 土地・マンションの売買
- 不動産物件の管理
- 不動産相続のコンサルタント



かのうや

叶屋不動産株式会社

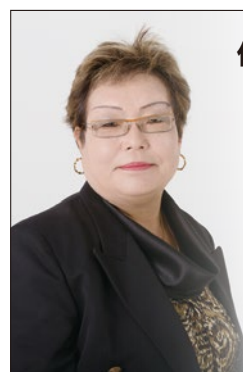
代表: 板屋雅博 携帯: 81-80-4419-1510

所在地: 東京都千代田区神田神保町1-38 森ビル

電話: 81-3-3518-9545 Fax: 81-3-3518-9546

Email: info@kano-ya.biz Web: kano-ya.biz

7935KANO



住宅の売買ならモトにおまかせ下さい。

100年以上の実績・信頼のある老舗のレイホワイで
30年の経験があるモト・ウォーターズが皆様のご要望
にあった最適物件の売買のお手伝いをします

**Gold Coastの不動産に
関してはお任せ下さい**

経験豊富なモトまでご一報下さい

お問い合わせ: +61-414-760-682 まで

Ray White®

The Surfers Paradise Group

Ray White Surfers Paradise Group

Level 2, 50 Cavill, Surfers Paradise 4217, QLD

TEL: (07) 5538 1555 Email: m.waters@rswp.net

3434RAYW

- 4 **メルボルン特集**
- 12 マーベラス・メルボルン
- 14 コミュニティー・ニュース
- 16 【第23回】最先端ビジネス対談
ビクトリア州日豪ビジネス協会CEO・セレステ・コラボスさん
- 20 KINOKUNIYA「最新BOOKSトレンド・チェック」
- 21 オーストラリア不動産の現状
- 22 日豪プレス法律相談室
- 23 豪州ビザ最新事情
- 24 日本語学校「みんなの将来の夢、聞かせて下さい!」
- 25 帰ってきたBBKコラム子育てパパ奮闘編
- 26 駐在さん、こんにちは! / 福島先生の教育指導
- 27 おいしいもの食べ隊
- 27 NSW州立美術館ボランティアガイド便り
- 29 日豪フットボール新時代 / 豪州ラグビー通信
- 30 Go! ワラビーズin Japan / タスマニア巡り
- 31 花のある生活
- 32 出倉秀男の日本料理と歩んだ豪州滞在記
- 33 きもの日和

- 今月の表紙 -



最新の統計局の集計で都市圏の人口がシドニーを上回り、豪州随一の都市となったメルボルン。今月は、巻頭特集で「コーヒー文化の首都」「芸術の街」と呼ばれるメルボルンの魅力をお届けする。メルボルン的高级ライフ・スタイル・ホテルや、ハイクオリティなサービスを提供するマツエク・サロンもご紹介。表紙に採用したのは、日豪プレス・インターン生が取材でメルボルンを訪れた際に撮影したカフェでの1枚だ。

Cover Photo=Sakura Hayama

NICHIGO PRESS オンライン版、好評配信中!

「NICHIGO PRESS ONLINE」では、日々変わりゆくオーストラリアの「今」を配信している。オンライン・プラットフォームの特性を生かしたウェブ限定特集や連載コラムが続々スタート。オーストラリアのニュースや生活情報など最新情報に加え、求人・住まい・マーケットのクラシファイドでは、ユーザー同士が交流できる場を提供している。ぜひアクセスしてご覧頂ければ幸いです。プリント版では、これまで以上に「取っておきたい」「何度でも読み返したくなる」深みのあるコンテンツづくりに注力していく所存。お楽しみに。

NICHIGO PRESS ONLINEで掲載中のトピックス

【特集/インタビュー】

<https://nichigopress.jp/topics/feature-interview>

求人や習い事、ビザなど生活情報の特集や、各分野で活躍する著名人・スペシャリストへのインタビュー、座談会などその内容は多岐にわたる。

【コミュニティ】

<https://nichigopress.jp/topics/community>

オーストラリア各地で行われるイベントや、スポーツなど大会で活躍する日本人に関するニュースなどをお届け。

【オーストラリアでの暮らし】

<https://nichigopress.jp/topics/living-in-australia>

オーストラリア在住の著者が、お勧めスポットやライフスタイルなど、パレエティに富んだ内容でコラムやエッセイを連載中。

【コラム】

<https://nichigopress.jp/topics/column>

書家や写真家などアーティストの作品掲載から、パレエ・ダンサーの日常や、教育の専門家、社長・役員秘書の裏側までさまざまなコラムをお届け。

【クラシファイド】

<https://nichigopress.jp/classified/work>

ユーザー同士が交流できる場を提供。無料で利用可能な求人・物件情報に加え、物の売り買い、サークル募集など生活に欠かせない情報が毎日多数掲載されている。



nichigopress.jp



「人生を変える1杯」を コーヒー文化の首都で味わう

都市圏の人口がシドニーを上回り、オーストラリア随一の都市となったビクトリア州の州都メルボルン。さまざまな国からの移民が各々の文化を大切に守りながらも、ダイナミックな融合を寛容に受け入れる、魅力あふれる多文化社会都市として日々変化し続けている。本特集ではメルボルン市民になくてはならないコーヒーについて紹介する。

執筆=原田糾、協力=ビクトリア州政府観光局

個性豊かなコーヒーを提供するカフェが建ち並ぶ市内の小道では、エスプレッソ・マシンから上る湯気に朝日が反射し、通り全体がコーヒーの芳ばしい香りで包まれる——。出勤前に好みのコーヒーをテイクアウトしようと、多くのビジネス層がカフェの前で出来上りを待つ姿は、「オーストラリアのコーヒーの首都 (Coffee Capital)」と呼ばれるメルボルンの朝の見慣れた風景だ。

メルボルンでは街を歩くと至る所にカフェを見つけることができる。その数は2000軒以上にも上り、シドニーやパリをも上回るという。豆の産出国や焙煎するロースト会社はどこを使っているか、酸味や苦味などフレーバーにどのような特徴があるか、コーヒーを淹れるバリスタの手柄や腕前は、店は落ち着ける雰囲気か、心地良

いテラス席はあるか……。市民にとっては数ある中からそんな自分のこだわりを満たしてくれるカフェを見つけるのも楽しみの1つ。

個性豊かなカフェが多いからこそ好みにうるさい客が生まれ、そして洗練された客の注文に合わせて更にさまざまなカフェが増えるのだろう。

スチーム・ミルクにきめ細かいフォーム・ミルクを少量加え、ラテに比べてエスプレッソの味わいがより楽しめる「フラットホワイト」をはじめ、エスプレッソより抽出時間を短くした甘みの強いリストレットにスチーム・ミルクを少量加える「マジック」など、さまざまなコーヒーが生み出されたように、メルボルンのコーヒー文化は独自の進化を遂げながら発展。新しいスタイルが現在も日々生み出されている。

それは、伝統を頑なに守るヨーロッパとは異なり、新たな製造法を積極的に取り入れながら「新世界ワイン」として発展を遂げたオーストラリア・ワインと似ている。異なる国からの移民が互いを認め合い共存する文化のメルティング・ポット、メルボルンだからこそ、コーヒーに関しても変わったもの、新しいことを拒まないという気質の中で発展していったのだろう。メルボルンは今や、世界大会で優勝するバリスタを何人も輩出し、腕自慢のバリスタが世界中から集まる「世界のコーヒーの首都」となったのだ。

気に入ったカフェで好みのコーヒーをオーダーし、街の雑踏や静かな音楽を楽しみながら過ごすメルボルンの午後は、きっと幸せを感じられるぜいたくなひと時となるはず。

コーヒーに魅了され、移住を決意

日本人バリスタ、佐藤拓也さん



1杯のコーヒーによって、その後の人生がガラリと変わってしまった日本人がいる。メルボルン市内の有名カフェ「アクシル・コーヒー・ロースターズ (Axil Coffee Roasters)」で、メイン・バリスタとして活躍中の佐藤拓也さん (30) だ。「日本ではイタリア料理のシェフだったんですよ」と、飾らない笑顔で自己紹介してくれた。

料理人としてもっと視野を広げ世界で勝負しようと、拓也さんが日本を飛び出したのは2015年。西オーストラリア州の州都パースでのレストラン経験を経て、南オーストラリア州のワイン産地クナワラで農業経験を積んでいた際、メルボルンから来ていた日本人と出会い、メルボルンのコーヒー文化のすばらしさについて熱弁されたという。

飲食業界に関するあらゆる知識と経験を吸収することを食欲に追求していた拓也さんは、すぐさまメルボルンに移動。当時、ラテ・アートの世界チャンピオンとしてメルボルンで活躍していた日本人バリスタ、下山修正さんが開催するコーヒー教室に顔を出した。

「え、おいしい。これがコーヒーって、本当に驚いたんです」と、下山さんの淹れた1杯のコーヒーに一瞬にして心を奪われたという。日本で拓也さんはコーヒーが苦手であり飲まなかったのだそう。それもそのはず、「単にコーヒーのおいしさを知らなかったんです」。そして、料理人としての

血が騒いだのだらう。最高のコーヒーを淹れられるようになりたい——その一心でコーヒー作りの世界に飛び込んだのだ。

しかし、カフェ激戦区のメルボルンで待ち受けていたのは、即戦力を求められる厳しい現実。採用のためのトライアルでは何度も苦汁を舐めたが、どうせなら自分が成長できるカフェで、店選びには妥協しなかった。何度も通い、これはと認めるコーヒーを出す店に絞ってトライアルを繰り返す。そして、やっとの思いで採用を勝ち取ったのは5軒目だったそうだ。

「とても忙しい店でしたが、おかげでコーヒー作りの基礎や接客の仕方をしっかりと身に付けることができました。自分の淹れたコーヒーをまた飲みに来てくれる。最初の店でバリスタとしての楽しさを知ってしまったという感じです (笑)」

そして20年、コロナ禍によって帰国が滞在継続かの選択を迫られた時、なんと日本に戻るという選択肢を捨てることになる。先輩の日本人バリスタから「出てしまったらもうオーストラリアにいつ戻れるか分からない」とアドバイスをされ、滞在継続を決断。帰国予定日の前日に日本行きのチケットをキャンセルし、バリスタとしての道を極めることに腹を決めたのだ。

現在、拓也さんが働くのは市内でも指折りの人気店。同店のバリスタ・トレーナーが、22年に行われた世界大会でバリスタ世界一に輝いたた

めた。「世界一のトレーナーから学ぶことは多い。一緒に働くことがとても刺激になっています。それにこだわりの強い客も多い。だからこそとても楽しいですね」

拓也さんにコーヒーの魅力について尋ねると、「淹れ方次第で味わいが全く変わるところです」。毎朝、その日の天気や気温に合わせて、選ぶ豆や豆の挽き方、プレス時の圧力、そしてコーヒーの抽出時間を微妙に調整する。するとさまざまな異なる酸味や甘み、コク深さといった自分ならではのフレーバーが生まれるという。

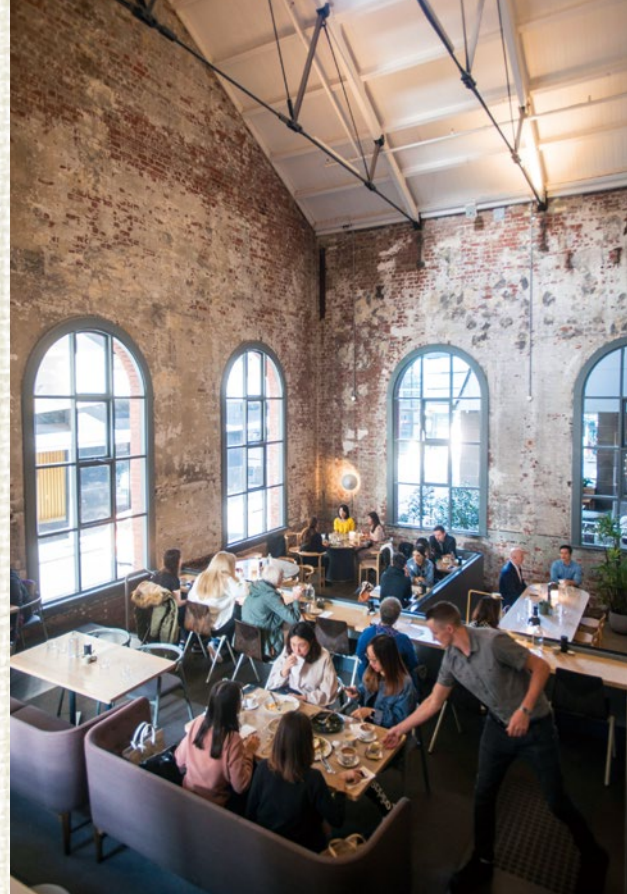
「かつて自分がコーヒーの奥深い味わいを初めて知った時のように、1人でも多くの人にコーヒー本来のおいしさを知ってもらいたいですね」。そのために、客とバリスタが気さくにコーヒーについて語り合えるような小さくてもアットホームな店を持つこと、更に、自分好みのコーヒーを自在に淹れられるような家庭用のエスプレッソ・マシンを作ることが夢だと話す。

その飾らない人柄でカフェの同僚や常連客からも愛される拓也さんは、今日も最高の1杯を淹れることに情念を注いでいる。

Axil Coffee Roasters Melbourne Central

●住所: Shop GD087, Melbourne Central Tower, 360 Elizabeth St., Melbourne VIC ●営業時間: 月~金7AM~4PM、土・日8AM~4PM ●Tel: (03)9671-4440 ●Email: info@axilcoffee.com.au ●Web: axilcoffee.com.au

洗練された空間で非日常を体験



Higher Ground Cafe

かつての発電所建造物を改装した、メルボルンで今、注目されているおしゃれなカフェ・レストラン。ダイニング・ルームの天井は15メートルの高さがあり、差し込む自然光が非日常的な空間を演出。元々のレンガ構造を利用した洗練されたインテリアの中で、独創的なフード・メニューと種類豊富なコーヒーが楽しめる。

上階にはバリスタ・ステーションがあり、好みのコーヒーと共にゆったりとしたラウンジで読書、仕事、食事など各々の時間を過ごせる。

キャビアを添えたブルースイマー・クラブのベネディクト、ブルーベリーと特製リコッタ・ホットケーキなど自慢の朝食メニューをぜひ試してみて。

Data

ハイヤー・グラウンド・カフェ

●住所: 650 Little Bourke St., Melbourne VIC ●営業時間: 月～金7AM～5PM、土・日・祝8AM～5PM ●Tel: (03)8899-6219 ●Email: info@highergroundmelbourne.com.au ●Web: highergroundmelbourne.com.au



天井の椅子が目を引く超人気カフェ

Brother Baba Budan

メルボルンのカフェ代表格とも言える自家焙煎カフェ「セブン・シーズ (Seven Seeds)」チームが同店以外で初めて市内で展開した姉妹店。

店内天井にぶら下げられた大量の椅子が奇抜でユニーク。思わず目が釘付けになるはず。

店舗のテーブル数は限りがあり、常に満席。そのため多くの客がテイクアウトでコーヒーを買い求める。

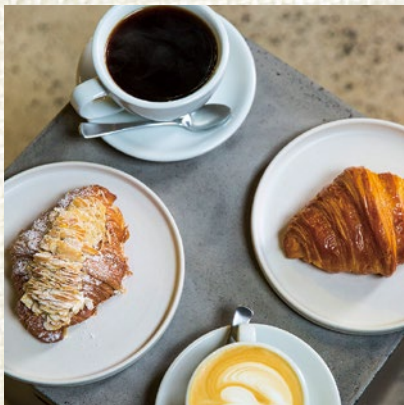
店に通い詰めるファンはわずかなコーヒー・ブレイクの時間を目一杯に使い、セ

ブン・シーズでローストされた香り豊かなコーヒーを求めて市内中から訪れるとか。「これぞメルボルンの味わい」という1杯に出合えるかも。

Data

ブラザー・ババ・ブーダン

●住所: 359 Little Bourke St., Melbourne VIC ●営業時間: 月～金7AM～5PM、土・日8AM～5PM ●Tel: (03)9606-0449 ●Email: hola@sevenseeds.com.au ●Web: sevenseeds.com.au/pages/brother-baba-budan



「世界一のクロワッサン」で人気爆発

☪ Lune Croissanterie

おいしいコーヒーと共に食べるおいしいクロワッサンを提供したい。その一心で、本場パリまで伝統製法を学びに行くというほど、クロワッサンの魅力に取りつかれたオーナーのケイトさんが特製クロワッサンを提供するカフェ。

ニューヨーク・タイムズ紙に「世界で一番おいしいクロワッサンかも」と取り上げられたことをきっかけに、早朝からクロワッサンを買求める客の長蛇の列ができるほどメルボルンで爆発的な人気を博している。

手作業で作るクロワッサンを眺められるオープン・キッチンのあるフィッツロイ本店のほか、

メルボルン市内のコリンズ・ストリート店もある。連日の長蛇の列に1度は加わり、おいしいコーヒーと共に世界一と評されるクロワッサンを公園のベンチで頬張ってみては。

Data

ルーン・クロワッサンテリー フィッツロイ

●住所: 119 Rose St., Fitzroy VIC ●営業時間: 月～金 7:30AM～3PM、土・日8AM～3PM

ルーン・クロワッサンテリー CBD

●住所: Shop 16, 161 Collins St. (enter via Russell St.), Melbourne VIC ●営業時間: 月～金7:30AM～3PM、土・日8AM～3PM ●Tel: (03)9419-2320 ●Web: lunecroissanterie.com



メルボルンの小道でコーヒーを堪能しては

!! Centre Pl. / Degrares St.

センター・プレイス (Centre Place) とデグレイベス・ストリート (Degrares Street) はメルボルンのコーヒー文化を象徴するキースポットの1つ。フリンダース・レーンを経由してコリンズ・ストリートからフリンダース・ストリート駅まで突っ切れる近道としての役割を持ちながら、数多くのブティック・カフェが軒を連ねる「カフェの小道」として有名。

道にはパリジャン・スタイルのカフェ・テールで、コーヒーやケーキ、世界各国のカフェごはんを思い思いに楽しむ客で常ににぎわいを見せる。



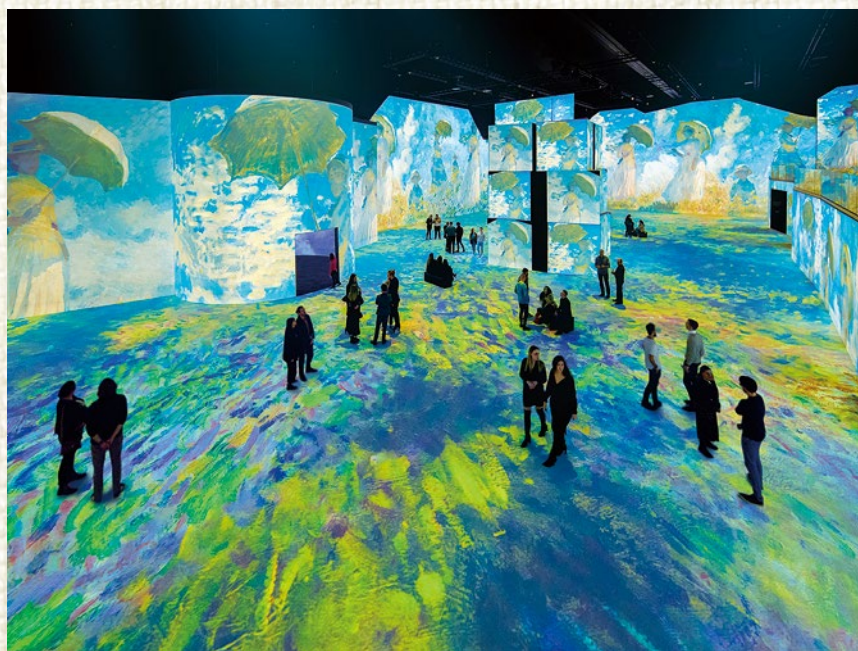
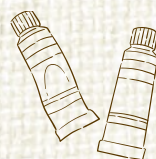
メルボルンのもう1つの顔 「芸術の街」

自由で勢いのあるストリート・アートを楽しむ

🎨 Hosier Ln / AC/DC Ln / Duckboard Pl. / Meyers Pl.

メルボルンは世界有数のストリート・アートの中心地として知られている。イギリス統治下時代の面影を残すレトロな建造物と近代的なビルが融合した街並みを彩るユニークなアート表現は、自由で勢いを感じるものばかり。街の多くの小道には、色とりどりの壁画やバンクシー風のステンシル・アート、プリントを張り合わせたペーストアップ・アート、複数の素材や技法を駆使して作られるミクスト・メディア・アートであふれている。

日々作り変えられる小道のアートはいつ見ても新鮮。常に進化を感じることができるはず。ホージア・レーン (Hosier Lane)、エーシーディーシー・レーン (AC/DC Lane)、ダックボード・ブレース (Duckboard Place)、メーヤーズ・ブレース (Meyers Place) など、ストリート・アートで有名な小道を散歩しながら、お気に入りのアートの前で記念撮影を楽しんで。



©The LUME Melbourne

訪れる者を圧倒する
新しいデジタル・アート・ギャラリー

🎨 The LUME Melbourne

THE LUMEメルボルンは、この街で最も新しい芸術アトラクションの1つとして、大きな反響を呼んでいる最先端デジタル・アート・ギャラリーだ。メルボルン・コンベンション&エキシビション・センター (Melbourne Convention & Exhibition Centre) 内に常設される形で、2021年から巨匠による絵画作品をモチーフにした、南半球初となる没入体験型デジタル・アート展示を展開している。

壁だけでなく床から天井まで会場全体の空間が巨大な展示スクリーンになっており、ゴッホやモネといった巨匠たちの絵画作品は美しくアニメーション化され、光景、音、味、香りを組み合わせて、来場者を包み込むように圧倒する。

芸術作品の一部になるような全く新しいアート体験をぜひ味わってみたい。

Data

THE LUME メルボルン - An Epic Adventure into Art

●住所: 5 Convention Centre Pl., South Wharf VIC ●営業時間: 月～水・日10AM～6.30PM、木～土10AM～9.30PM ●Email: enquiries.melbourne@thelume.com ●Web: www.thelumemelbourne.com

メルボルンでマツエクするなら、マリコ・サロンにおまかせ！ 日本人アイリストによるハイクオリティーなサービス

メルボルンの歴史遺産、観光地としても有名なブロック・アーケードに、地元で人気のマツエク・サロンがある。アイラッシュ国際大会での優勝経験を持つSakiさんが経営するハイエンドサロン「マリコ・サロン」だ。「日本人品質」と表現すると伝わりやすいだろうか。明るく心地の良い、そして訪れる人びとの日ごろの疲れを癒してくれるリラクゼーション空間、在籍スタッフの高い技術力によるナチュラルで上品な仕上がりが品質など、一度行けばその人気の高さにも納得できるはずだ。

使用しているマテリアルは日本製の中でも最高品質のMARIE LASH JAPAN社のもの。ウェブサイトのレビューを見ても五つ星が並び、「担当して頂いた女性のプロフェッショナル性、クリーンなスペースなど大満足 (Gulinka)」「あまりに快適なので眠りに落ちてしまいました (Cheyserr)」などのコメントも見られる。

オーナーのSakiさんは「マリコ・サロンのオリジナル技術『ブルーミングラッシュ』は、地まつげを健康に保ち、“持ち・濃さ・繊細さ”全てがそろうため、一番人

気のメニューです。ぜひトライしてみてください」と話す。

大阪府出身のSakiさんは、カナダでのワーキング・ホリデーを経た後、オーストラリアでアイリストになることを決意しバイロンベイへと移住、同地で経験を積んだ後、メルボルンに移り、「TOKYO LASHES (現マリコ・サロン)」に勤務。その後、個人サロン・オーナーの経験を経た後、マリコ・サロンのオーナーとなったそう。

「利用者の年齢層はさまざまですが、子育て世代の方から仕事の休憩時間などにリラックスしに来てくださる方まで多くの方にお越し頂いております」

「誰とでもすぐに仲良くなれる性格」とのこと、Sakiさんとの会話を楽しみに、6年以上通い続けているファン層も多いそう。

Sakiさんをはじめ、サロンには他にも日本人アイリストが複数在籍しているため、海外のサロンが初めての日本人でも安心して利用できる。予約はオンラインより。また、各アイリストがそれぞれモデルも同時募集中とのこと。興味のある人はぜひ問い合わせしてみよう。

海外でのサロンが初めての人も安心のリラクゼーション空間、
ぜひご堪能ください
(オーナー・Saki)



マスター・スタイリストのMaiとシニア・スタイリストのMiwa、Luna、Haruna (左から)

Information

営業時間：月～土10AM～7PM、日・祝休
住所：Suite 226, Lift 3 Level 2, 98-100 Elizabeth St., Melbourne VIC 3000
Tel: 0466-318-425
Web: marico-salon.com/melbourne/
Email: maricosalon.melbourne@gmail.com



日本でも5年以上の経験を持つなど、経験豊富なスタッフがそろう



「とてもリラックスできる雰囲気」とレビューでも好評の店内



Melbourne

メルボルンの生活情報やおすすめ観光スポットなど、
「NICHIGO PRESS ONLINE」で配信中！

詳しくは、nichigopress.jp/topics/vic/



広告・記事掲載のご希望・お問い合わせは、npsales@nichigo.com.au まで



W MELBOURNE

ユニークかつラグジュアリーなライフ・スタイル・ホテル

メルボルン市街の中心部フリンダーズ・レーンとコリンズ・ストリートに位置するWメルボルン（W Melbourne）は、メルボルンの街並や音楽、ファッション、カクテル文化をコンセプトとした高級ライフ・スタイル・ホテルだ。充実した館内の設備や、併設されているレストラン、バーなど、楽しさと意外性に富んだ同ホテルの魅力に迫る！

近隣には、ヤラ川遊歩道、クイーン・ビクトリア・マーケット、国立美術館、ユーリカタワー展望台などの人気観光スポットがある好立地のWメルボルン。ロビーの入り口は、ファッショナブルな通りのフリンダーズ・レーンに面し、映画『バッドマン』のワンシーンを思わせる黒く光り輝く車寄せから館内に入ると、5スターの客室とサービス、活気に満ちたレストランやバーがゲストを迎えてくれる。週末のチェックイン時には、ホテル・ロビーでウェルカム・カクテルが振る舞われるのも、高揚感を掻き立てる。

「Reveal to Revel」隠された楽しさの発見！

隠れ家へ導く裏路地のような廊下でつながる客室は、メルボルンの街の特徴でもある、暗い照明で、控えめな優雅さを保ちながら、家具や備品はカラフルでスタイリッシュ。街角で見掛けるキョ

スクを再現したかのようなオレンジ色に光るワードローブがあり、カクテル文化を届けてくれる円筒形のミニ・バーがそれらを彩る。ミニ・バーには、地元のクラフト蒸留所のビールや、ウイスキー、ジンなどが備えられ、“隠された楽しさの発見！”を表現。また、294の客室とスイート・ルーム全室にTOTOウォッシュレットが完備されているという。

特別なひと時が味わえる宿泊施設

ラグジュアリーな客室はもちろん、屋内プールやサンテラス、最先端のジムなど、施設も充実しているWメルボルン。14階にある24時間温水プール「WET®」では、カクテルを楽しみながら、ヤラ川、コリンズ・ストリート、街のスカイラインの景色を満喫することができ、都会にいながらリゾート気分を味わえる。館内の各施設では、常にアップ

ビートな音楽が流れ、滞在時間を更に刺激的にしてくれる。

ワンランク上のレストランやバーが充実

併設されている5つのレストランとバーも必見だ。寿司を中心とした純和食の「おまかせコース」を提供する「WARABI」では、経験に富んだ板前が最高級の和食を届けてくれる。同店はオーストラリア版ミシュランとも言われるグッドフード・ガイド2023で、2シェフ・ハットを受賞。また、メルボルンならではの多文化料理を味わえるダイニング「LOLLO」、『不思議の国のアリス』の空間に迷い込んだような感覚を味わえるバー「Curious」、街のコーヒー文化を代弁するカフェ「Culprit」でも食事やドリンクを楽しむことができる。

半地下にあるメイン・バーCuriousは、ロンドンで開かれた2022年世界バー・レストラン・デザイン大賞を受賞。DJの音楽とパフォーマンスも楽しめるカクテル・バーだ。午後のカクテルから、深夜のナイト・クラブまで楽しみ方は多様。訪れる全ての人がとを惹きつける遊び心と洗練された空間



で、驚きと発見をもたらすよう設計されている。バーの中に一歩足を踏み入れると、木の梁で形成された繭のような空間に包まれ、非日常的な空間ですばらしい時間を過ごすことができる。

翌日はLOLLOでの朝食の後、コリンズ・ストリートやヤラ川沿いを徒歩で散策すると、ホテル内で見つけた街のアクセントにも遭遇することができるだろう。

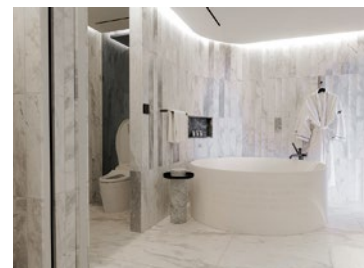
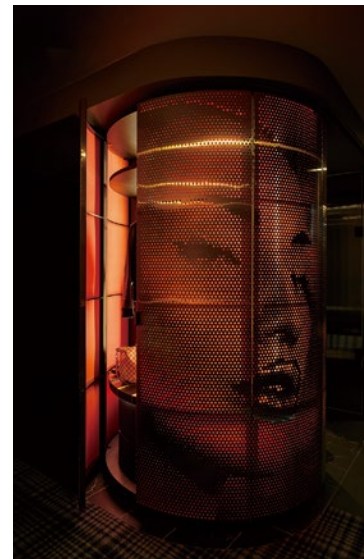
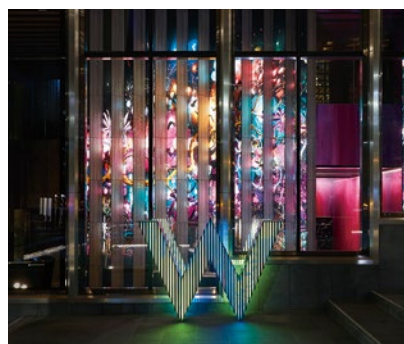
あらゆるシーンを満喫できる極上の空間

CBD最新的大型複合ビル「Collins Arch」の一角に位置するWメルボルンは、日系不動産開発会社「ダイショウ・デベロップメント・メルボルン」とオーストラリア年金運用会社「Cbus Property」の共同開発で、2021年2月にオープンした。ホテルの宿泊料金は1泊350ドル〜。「エクストリームWOWスイート」は8000ドルとなっている（宿泊日により変動あり）。

記念日など、特別な週末を過ごすカップルやグループはもちろん、出張で訪れる際のビジネスや会食にも最適だ。メルボルンに滞在するなら、さま

ざまなシーンを満喫できるWメルボルンにぜひ足を運んで欲しい。

W Melbourne: マリオット・インターナショナルが展開するブランドの1つであるホテル。ニューヨークの多様な文化とエネルギーの中で誕生し、現在は24時間休みなく活動する世界中の活力を取り入れ、世界各地の魅力的な旅の目的地に最高級の音楽、ファッション、デザイン、刺激的なエナジーを届けている。「W」を象徴する“いつでもどんなことでも (Whenever/Whatever)”に対応するサービス、そして活気あふれるホテル内施設が、すばらしいゲスト体験を提供してくれる



W Melbourne

詳しいホテルの情報、予約はこちらから
www.wmelbourne.com



文・写真=伊タさん(板屋雅博)

日豪プレスジャーナリスト、フォトグラファー、駐日代表 東京の神田神保町で叶屋不動産(Web: kano-ya.biz)を運営

第71回

メルボルン初期の学校



アボッツフォード小学校(1864年建築)。中央部入口と教室は、女子用と男子用に分かれている

1851年にビクトリア植民地は、ニュー・サウス・ウェールズ植民地から分離した。

ビクトリアは、宗教色がない普通学校制度とキリスト教系学校制度の2つの学校組織を継承。教育省の下に国民学校庁と宗教学校庁が設けられ、限られた予算を取り合った。

当時は、男性中心の世の中を反映して、男子生徒と女子生徒は明確に区別され、教室や建物の入り口も別々であった。女子生徒の就学は、家庭科の高等教育が目的だったという。

53年設立の国立メルボルン大学でも女子学生の入学は長い間認められず、ようやく認められたのは90年(明治23年)のことである。

カトリック教会とプロテスタント教会は宗教的に対立し争いの種であったが、ビクトリアの各地で学校を増やしていった。

当時は学校法などの規定がなく、どのような学校に通うかは自由に選択できた。私立学校に通う子どももいれば、自宅で家庭教師に習う子どももいた。貧しい家庭の子どもは教育を受けることができず、教会や福祉団体などにより、無料の福祉学校が作られた。

51年にゴールド・ラッシュが始まり、政府も大きな予算配分ができるようになった。この時期、

グラマー・スクールと呼ばれる英国イングランドの小中高一貫の私立学校をモデルとしたエリートの私立学校が設立された。

54年ごろ、ビクトリア植民地政府は、メルボルン大学へ入学する学生を育てるため、3万5,000ポンドの巨費を投じて、複数のグラマー・スクールの設立と運営に関わった。メルボルン・グラマー、スコッチ・カレッジ、ウェズリー・カレッジなど名門校4校が選定され、予算が分配された。

当時、メルボルン大学同様に各校全てが男子校であり、現在もビクトリアの名門学校として著名人を輩出している。英国のチャールズ国王もジローン・グラマーのOBである。

ゴールド・ラッシュにより人口が激増し、教育制度を変更する必要があったため、62年に公立学校法が成立し、72年にビクトリア教育法が作られた。宗教色がない、無料、義務教育などが骨子であった。

ビクトリア植民地政府は、各州の中で最初に6歳から15歳までの子どもたちを対象とした公立学校制度を設置した。メルボルンには富裕者層や労働者層が暮らしていた地区があるが、小学校建築物で見ると、政府は分け隔てなく有名建築家による立派な建物を建設している。



ビクトリア最古のポートランド小学校



労働者層のリッチモンド小学校

日豪首脳会談



日豪首脳会談

9月9日、G20ニューデリー・サミットに出席するためにインド・ニューデリーを訪問していた岸田文雄内閣総理大臣は、アンソニー・アルバニー・オーストラリア連邦首相と日豪首脳会談を行いました。その概要を日豪ブレスの読者の皆様へお伝えいたします。オーストラリア連邦在住の皆様におかれましては、両国の友好関係が一層強化されていくよう、引き続きお力添えをお願い申し上げます。

日豪首脳会談

冒頭、岸田総理大臣から、日豪間の「特別な戦略的パートナーシップ」に基づく協力の着実な進展を評価するとともに、「自由で開かれたインド太平洋」の実現に向けた協力を一層進展させていきたい旨述べました。

続いて、福島第一原発への対応につき、冒頭、アルバニー首相から、日本が国際原子力機関（IAEA）と連携して責任ある形で取り組んできていること及び日本がとった措置を称賛する旨の発言がありました。これに対し、岸田総理大臣からは、豪州が発出したIAEA包括報告書の歓迎声明も含め、これまでの豪州の対応に感謝の意を表明しました。さらに、本件ALPS処理水をめぐる日本の対応等につき意見交換しました。

また、両首脳は、8月に発効した日豪部隊間協力円滑化協定（RAA）の下、F-35戦闘機が両国を相互訪問する共同訓練が行われるなどの防衛協力が進展していることを歓迎し、昨年の新たな安全保障協力に関する日豪共同宣言を指針に、具体的協力を強化していくことで一致しました。

そして、両首脳は、資源・エネルギー分野に



日豪首脳会談

おける日豪協力の重要性を改めて強調し、引き続き緊密な対話を継続していくことを確認しました。特に、「アジア・ゼロエミッション共同体」構想を通じたアジアの脱炭素化や水素・アンモニア分野での協力などについて、連携して取り組んでいくことで一致しました。

さらに、両首脳は、核・ミサイル問題や拉致問題を含む北朝鮮への対応について意見交換しました。

日 本 国 政 府
(写真提供：内閣広報室)

より詳しい情報は、首相官邸ホームページ (<http://www.kantei.go.jp/>)、外務省ホームページ (<http://www.mofa.go.jp/mofaj/>) をご覧ください。

また、日本政府の政策や日本の魅力について、英文の日本政府公式ホームページ「JapanGov」 (<http://www.japan.gov.jp>) や、英文オンライン・マガジン「HIGHLIGHTING Japan」(和文も掲載。 <https://www.gov-online.go.jp/eng/publicity/book/hlj/index.html>) もご参照ください。

この記事に関するご意見・ご感想は下記までお寄せください。

■内閣府大臣官房政府広報室
Public Relations Office, Cabinet Office,
Government of Japan
E-mail: g.kaigai@cao.go.jp

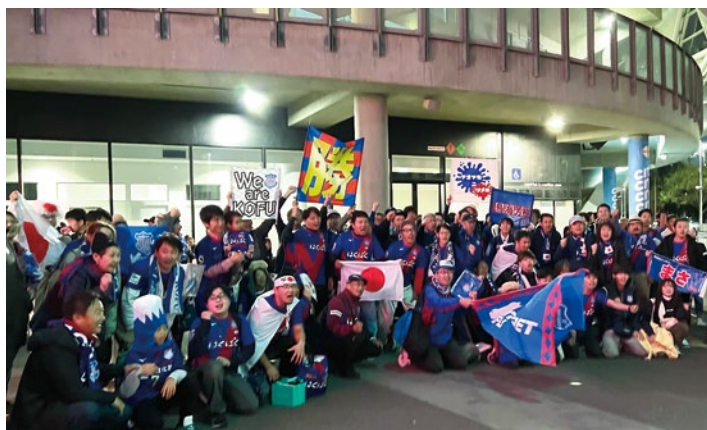


Japan. Sharing tomorrow.

Japanese Community News

各記事の文末に記載しているQRコードから、関連記事や多くの写真を盛り込んだ完全版などをオンラインでご覧頂けます。

サッカー・ヴァンフォーレ甲府vs.メルボルンシティ戦 山梨県人会がメルボルンで応援



メルボルン市内のスタジアムに集結した300人のVF甲府サポーター

2022年の天皇杯を劇的勝利で制したヴァンフォーレ甲府が出場するサッカー・アジア・チャンピオンズ・リーグ (ACL) の試合が、9月20日、メルボルン市内のレクタンギュラー・スタジアムで行われ、地元在住の山梨県出身者らが応援に駆けつけた。試合には、日本から現地入りした300人のサポーターがスタンドから熱狂的な声援を送り、会場を大いに盛り上げた。

また、前日の19日には、ピクトリア州バララットにあるメイン・スポンサー「はくばく」(本社:山梨県中央市)の乾麺製造工場をチーム関係者らが訪問。20日の試合前は、ヴァンフォーレ甲府の佐久間悟社長、はくばくオーストラリアの中村龍児社長、飯島浩樹シドニー山梨県人会会長ら一行が、在メルボルン日本総領事館を訪れ、島田順二・在メルボルン日本総領事と日豪の活発なスポーツ文化交流などについて約2時間にわたり意見交換を行った。

現地時間20日午後8時キックオフの試合は、時折小雨が降り注ぐ中、地元山梨などからのサポーター300人が「さあ行こうぜ!俺ら



在メルボルン日本総領事館で行われた意見交換会

の甲府」とスタジアムに響きわたるチャントで応援したが、結果は0対0の引き分けとなった。しかし、ヴァンフォーレ甲府が相手の倍以上のシュートを放つなど、オーストラリアの強豪メルボルンシティに対し終始押し気味に試合を進め、勝ち点1を獲得。長時間の移動に加え、試合終了数時間後には帰国の途に着くというハード・スケジュールをこなしたチームは、今後タイや中国のチームとACL1次リーグを戦い、決勝トーナメント進出を目指す。

「シドニーやまなし県人会」及び「豪州山梨県人会」では、定期的に「無尽」親睦会を開催している。興味がある人はEメール (mcmspl17@yahoo.co.jp) で問い合わせを。



毎年大盛況の文化交流イベント

「Matsuri Festival in Chatswood 2023」が開催



ダイナミックな和太鼓が披露されたオープニング

9月9日、シドニー北郊に位置するチャッツウッド・モールで、「Matsuri Festival in Chatswood 2023」が行われた。シドニー日本クラブ (JCS) が主催する同イベントは、文化交流イベントとしてシドニー北部地域で最大規模を誇り、多くの来場者でにぎわう恒例行事となっている。

オープニングでは、ウィロビー市長のターニャ・テイラー氏やシドニー日本クラブ会長・渡部重信氏があいさつし、鏡開きを実施。和太鼓

のパフォーマンスも披露された。会場には日本食の屋台が並び、華道や書道、折り紙、着物の着付け体験など、日本の伝統文化を体験できるワークショップも行われた。

渡部氏は「チャッツウッドは、盛り上がりを見せる大事な場所なので、オーストラリアの子どもたちにも、異文化に触れる体験を提供し、いつか日本を訪れたいと思ってもらえるようなご縁を作る場になればうれしい」と語る。



豪州繫生語研究会が「つな豪未来」を開催 オーストラリアで日本とつながる若者の集い



参加者が一体となって交流

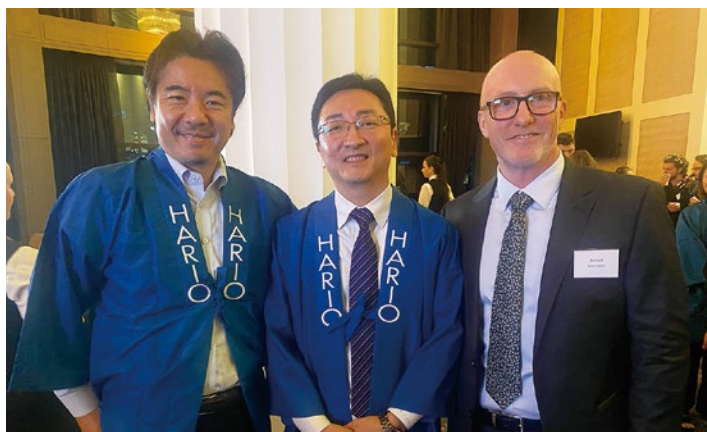
9月2日、シドニーCBD南部に位置するジャパンファウンデーションで、豪州繫生語研究会 (ANJCL) が、幼少期より日本とつながる若者のための懇親イベント「つな豪未来」を開催した。人気YouTuberフォーサイス家をゲストに招き、約40人の若者が軽食やクイズを楽しみながら交流を深めた。

ANJCLは、オーストラリアで繫生語として日本語を使う人びとやコミュニティ支援を目的に活動。同研究会の事務局長・大野唱子氏は

「日本語ができないからといって引け目を感じて欲しくない、その逆も言えます。言語は横に置いて日本とのつながりを見て欲しい。1つだけ大きなコミュニティがあれば良い訳でもないと思っています。映画が好きな人、運動が好きな人など小さなグループにコミュニティが細分化していく可能性もあるでしょう。その際、どのように立ち上がり、発展していくのが今後の課題となります」と話す。



日本の耐熱ガラス・メーカー「HARIO」 メルボルンで開所式を開催



左からHARIO柴田亘保・取締役副社長、HARIO Australiaの張社長、Bombora Suppliesのバーナード社長

8月18日、日本製の耐熱ガラス・メーカー・ハリオがオーストラリア進出のため、メルボルンのクラウン・タワーで「HARIO Australia」の開所式を行った。開所式には、バリスタやカフェを中心とした飲食関係者など約80人が参加。HARIOのこれまでの歴史や製品の製造過程、国内外の企業情報や「セラミック・ドリッパーV60J」に関する動画が放映された。

HARIO Australiaの代表を務める張潤鍾氏が「コーヒー・イマジネーション」をブランド・ビジョンに掲げ

た、ブランド再開発について紹介。乾杯はバリスタ用品を扱う卸業者のボンボラ・サプライのバーナード・ピーターズ社長が行い、「HARIO Australiaは、日本のHARIO本社とBomboraにとって良好な関係を築ききっかけになりました。HARIOと長く有益な関係を築くことを楽しみにしています」とあいさつ。会場では、3人のゲスト・バリスタによるハンド・ドリップ・コーヒーが振る舞われた。



メルボルン旅行が出張に!? 「HARIO Australia」の開所式に潜入—インターン体験記

8月中旬、日豪プレス・インターンがメルボルンを訪れ、「HARIO Australia」の開所式取材した体験記をお届けします。

(文・写真=早山さくら)

7月初旬、私は「HARIO Australia 開所式のお知らせ」という件名のメールを見つけ、「えっ、HARIOってあのコップのHARIO? 開所式って何だろう」と心を躍らせた。それは日本製の耐熱ガラス・メーカー・ハリオ (HARIO) から送られて来た、「HARIO Australia」の開所式の招待メールだった。

“飲む専門”だが、私はコーヒーと紅茶が大好きで、日本ではHARIOの製品を愛用していた。シンプルなデザインでどんな食器とも相性が良く、何より機能性に優れ、耐熱ガラスでできているという点が使い勝手が良い気に入っている。HARIOがオーストラリアに進出すると知った時、自分が大好きな日本製品の良さをオーストラリアの人たちとシェアできるように、とてもワクワクしたのと同時に、開所式へ取材に行き、HARIOのオーストラリアでのスタートの瞬間に立ち会いたいと思った。

会場はクラウン・タワーの29階

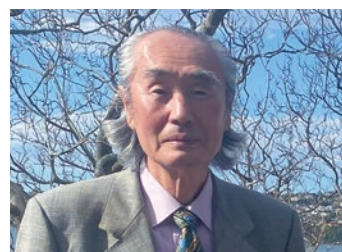
で、メルボルンの美しい夜景が一望できる場所だったが、初めてのビジネス・パーティーのため緊張で景色どころではなかった。会場には日系企業の社長や役員など、普通に生活していれば会うことのない方々が多く、自分がそこにいるのは少し場違いとさえ感じた。しかし、皆さんがとても気さくに話し掛けてくださり、取材を楽しむことができた。オージーのカフェ関係者の方々と、メルボルンでお勤めのカフェやレストラン、日本の観光地について話をした。メルボルンのカフェ業界で活躍されている日本人の方々もいて、皆さん1人ひとりが違ったバックグラウンドやオーストラリアでのストーリーを持っていて、興味深い話をたくさん聞くことができた。

式の中で一番印象に残っているのは、ゲスト・バリスタによるハンド・ドリップ・コーヒーだ。世界的なバリスタの方々が淹れたコーヒーを飲むことなんてめったにないため、とて

【お悔やみ】JCS初代会長・保坂佳秀氏が死去

海外在住の邦人が国政選挙に投票できる在外選挙制度の実現に尽力したシドニー在住の保坂佳秀氏が9月28日、死去した。90歳だった。

1933年生まれ。80年オーストラリア移住。現地企業で技術者として働きながら、83年に永住者を中心とした在豪邦人団体、シドニー日本クラブ (JCS) を立ち上げ初代会長を務め、邦人の福祉活動などに取り組んだ。90年代には在外選挙権の獲得に向けて活動。黎明期のインターネットを駆使して海外の日系人団体



故・保坂佳秀氏

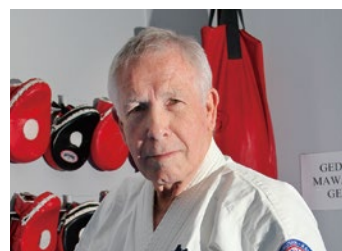
と連携し、草の根の運動を展開。98年に海外投票を認める法改正が実現した。



【お悔やみ】格闘家、ジョン・テイラー範師が死去

日本の武道精神をオーストラリアに伝えてきた「国際空手道連盟極真会館」豪州支部会長で格闘家のジョン・テイラー範師が9月27日、死去した。82歳だった。

1941年スコットランド生まれの英国育ち。62年に来豪し、フルコンタクト空手の代表的な流派である極真空手の門を叩いた。極真空手の創始者、故・大山倍達総裁の下で修行を積み、最高位の称号「範師」を授かった。以来、約半世紀にわたり豪州支部長を務め、指導者とし



故・ジョン・テイラー範師

て数々の世界チャンピオンを輩出。青少年の教育、日豪間の草の根交流に尽力した。



右から料理人で著書も出しているジュリア・バスター・ユ・ニシムラさんと旦那さん、ITO EN Australiaの富沢成年社長、筆者



お土産で頂いたフィルター・イン・ボトル

も感動した。特にメルボルンにある「Market Lane Coffee」のバリスタ・石渡俊行さんにインタビューをした際、普段はカフェの店頭ではなく、オフィスで勤務されていると伺い、石渡さんの淹れたコーヒーを飲むことができたのはレアに感じた。

式が終わり会場を出る際、HARIOの方々からゲストにお土産が手渡しで配られた。中にはHARIOのフィルター・イン・ボトルが。以前から欲しいと思っていた製品が頂けた上、それが自分の名前である桜の柄のボトルだったことがう

れしくてたまらなかった。このすてきな土産もそうだが、式中の法被のプレゼントや三本締めなど、オーストラリアにしながら日本の「おもてなし」を感じる開所式だった。

HARIOとメルボルンのコーヒー・カルチャーの魅力をより深く知ることができた取材は、とても有意義で楽しい時間を過ごすことができた。より詳しい開所式の内容や、HARIO柴田亘保・副社長インタビューなど、取材記事は右記QRよりご覧頂ける。





PROFILE

Celeste Koravos

明治大学や早稲田大学ビジネス・スクールで学ぶなど、日本での活動経験を生かし2012年からAJBCVに参加、現在CEOを務め、日豪のつながりの深化に尽力している。弁護士及び土木技術者の資格を持ち、現在はヨーロッパの再生可能エネルギー開発会社「Xodus」で脱炭素化とエネルギー転換の責任者として従事。オーストラリアの再生可能エネルギー・プロジェクトへの日本の投資に焦点を当てている



PROFILE

作野善教 (さくのよしのり)

doq®創業者・グループ・マネージング・ディレクター。米国広告代理店レオバーネットでAPAC及び欧米市場での経験を経て、2009年にdoq®を設立。NSW大学AGSMでMBA、Hyper Island SingaporeでDigital Media Managementの修士号を取得。移民創業者を称える「エスニック・ビジネスアワード」ファイナリスト、2021年NSW州エクスポート・アワード・クリエイティブ産業部門最優秀企業賞を獲得

メルボルンを拠点に日豪関係を強化 日豪ビジネス協会初の最年少女性CEO

セレステ・コラボス

ビクトリア州日豪ビジネス協会CEO

作野善教

doq®代表

日系のクロス・カルチャー・マーケティング会社doq®の創業者として数々のビジネス・シーンで活躍、日豪プレスのチェア・パーソンも務める作野善教が、日豪関係のキー・パーソンとビジネスをテーマに対談を行う本連載。今回は、ビクトリア州日豪ビジネス協会 (Australia Japan Business Council of Victoria/AJBCV) CEOセレステ・コラボス氏にご登場願った。

(撮影：クラークさと子)

作野: 日本での留学経験やこれまでのキャリアについてお聞かせ下さい。

コラボス: 私は大学で土木工学、法律、そして日本語を勉強しました。自分のキャリアで日本語を使う機会があるとは思っていませんでしたが、法律事務所で働いていた時に、香港やシンガポールなど、アジアの英語圏の国での勤務の機会を与えられました。その際、日本に興味を持っていたので、日本に行っても良いかと尋ねました。10年間日本語を勉強した経験を生かしたかったのです。その結果、東京で働く切符を手に入れることができました。ビジネスで日本語を使うのは初めての経験でしたが、日本語と英語、両言語を使いながら、外国人スタッフだけでなく、現地の日本人スタッフと仕事をする機会も多く得ました。そしてオーストラリアに戻った際、私は日豪間のつながりを保ち続ける役割を担いたいと考え、ビクトリア州日豪ビジネス協会 (AJBCV) でボランティアを始

めました。11年間ボランティアを続け、過去2年間はCEOを務めています。

私はこの組織の中で最年少かつ、初の女性CEOとなりました。AJBCVは、とても多様性 (diversity) がある包括的 (inclusion) な組織で、理事会は、オーストラリアや日本の学生から組織のCEOまで、多様なメンバーで構成されています。プログラムのテーマも、「日豪ビジネス女性ネットワーク」や「メンタリング・プログラム」「奨学金プログラム」「インターンシップ・プログラム」「キャリア・フェア」など多岐にわたり、学生 (小学生～大学生) とビジネスを結び付けるさまざまな取り組みが実施されています。

作野: すばらしいですね。若いころ、オーストラリアで日本語を勉強しようと思ったきっかけは何だったのでしょうか。

コラボス: 日本に興味を持った最初のきっかけは、子どものころから空手をやっていたことです

(編注: 黒帯二段)。武道を通して日本に興味を持つ中、高校入学の際に日本語かヨーロッパの言語学習を選ぶ機会を得ました。私は、日本がオーストラリアの将来にとって重要な役割を果たすと感じていたので、日本語を選んだというのが経緯です。

作野: 日本での生活や経験についてもう少し詳しくお聞かせください。

コラボス: 明治大学で世界中から集まった外国人弁護士のグループと一緒に日本の法律と司法制度を学んだというのが最初のキャリアになります。日本とオーストラリアにおける法制度と法律の違いや、日本の法律の文化的側面を理解することができたすばらしい経験でした。

日本では、弁護士への依頼や法的問題への関与に対する姿勢がオーストラリアとは大きく異なります。その出発点を理解することが非常に重要なのです。例えば、日本では法律を盾に戦うことには



一般的にネガティブな印象がありますが、オーストラリアではビジネスの一部として溶け込んでいます。ですから、オーストラリア人が日本でビジネスを行う際は、日本の顧客が紛争や契約に対して抱くであろう躊躇（ちゆうちゆう）を理解することが大切です。日本には、人間関係や信頼関係を基にした文化的側面があるため、オーストラリアのように何百ページもの契約書を作成する必要はありません。契約書を読む前に、その関係性によってビジネス関連の問題が解決されると考えられているためです。明治大学の法学研究では、そういったことを学びました。

以降、明治大学でゲスト講師として招かれる機会も持つようになりました。法律を学ぶ日本人学生を対象に、日本の法律と国際法の比較やキャリアの可能性、更に広くグローバル・ビジネスにおける日本の位置付けについて話をしてきました。そして法律を学んだ後、今度は「逆風下の変革リーダーシップ養成講座（グローバル・レジリエント・リーダーシップ）」というプログラムで国際ビジネスを勉強しました。早稲田大学のビジネス・スクールとアメリカのウォートン・スクール、日産グローバル財団が共催したもので、日本に焦点を当てながら、課題を通して国際的にビジネスをリードするという内容でした。

日産の再生と変革、日本だけでなく国際的な企業とのさまざまな提携、中国における日産の成功など、日産の事例に関連する多くの内容を学びました。カルロス・ゴーン氏が私たちに講演する前に逮捕されたため、このコースが実施された1週間はとてもドラマチックでした。そして私は、このコースを受講した最初の外国人でした。優れた内容はもちろん、日本の国際企業で働く日本人40人と一緒に教室で、彼らの視点や考え方を聞けると共に、彼らのグループ演習への参加姿勢を見られた

のは本当に光栄なことでした。オーストラリアではアクセスできなかった視点について非常に深い洞察を得ることができました。

作野：法律業界で働くオーストラリア人女性として、日本での勉強と日本人との仕事の両方を経験したわけですね。

コラボス：ええ。ただ、今は法律に関わる仕事ではなく、Xodusという会社で、水素/アンモニア、CC(U)S、陸上風力、洋上風力、太陽光、海洋エネルギー、重要な鉱物などの分野にわたる、脱炭素化とエネルギー移行に向けたオーストラリアのパートナーシップについて日本のクライアントにアドバイスをする仕事をしています。私はオーストラリアにある日本の商社で働いたことがあり、そこで日本の大手グローバル企業の仕組みを内側から理解する機会を得ました。意思決定の方法、仕事の進め方、コミュニケーションの取り方など、日本のビジネスに関する重要なことを多く学びました。

ビジネス文化の指標で見ると、オーストラリアと日本はさまざまな点で正反対のため、AJBCVや政府のリクエストに応じて、私は時折トレーニングを提供しています。その1つに「日豪ビジネス文化トレーニング」というものがあります。これは私が日本の商社にいた際に開発したモジュールで、主にオーストラリア人の現地職員と日本人駐在員に提供しており、AJBCVのコミュニティーでも非常に人気があります。オーストラリアと日本の違いについて、人間関係、意思決定、上下関係、コミュニケーション、意見の相違、フィードバックなど多岐にわたるテーマで話をさせて頂いております。

メルボルンを拠点に日豪をつなぐ

作野：日本とオーストラリアのジェンダー・ダイバーシティの違いについてはどのようにお考えですか。

コラボス：AJBCVでは、もちろんそのような取り組みに非常に興味を持っています。そのため、私たちはオーストラリアと日本、それぞれで日豪ビジネス女性ネットワークという団体を立ち上げました。現在メルボルン、シドニー、ブリスベン、東京の4都市で展開しています。最近ではFIFA女子ワールドカップにちなんだイベントも開催され、大変盛り上がりました。また、日本との技術協力に関するイベントを行った際は、私の本戦であるXodus、トヨタ自動車、RMITからパネリストを招き、ジェンダー平等、ダイバーシティ、インクルージョン、イノベーション、そして日本特有の課題について講演して頂きました。男女共同参画に関して、オーストラリアと日本は異なる段階にあるため、日豪ビジネス女性ネットワークにどのようなフォーラムを提供するのがベストかという点については、未だ検討中です。

作野：AJBCVのCEOとしてメルボルンを拠点に日本とオーストラリアをつなぐ組織を率いておられるわけですが、今後メルボルンと日本がより良い関係を築く要素となり得るものは何だと思いますか。

コラボス：メルボルンと日本の良い協力分野の1つに、スペシャルティ・コーヒーが挙げられます。私は以前、日本人向けにメルボルンのスペシャルティ・コーヒー・ツアーを運営するビジネスをしており、メルボルン・コーヒーに関するマスター・クラスを行っていました。また、日本の専門パリスタとコーヒー焙煎士が主催するウォーキング・ツアーでは、メルボルンの特別なカフェを5〜6軒訪れるなどさまざまなコーヒー文化体験を得ることができました。ゲストにはメルボルンで作られた持続可能で再利用可能なキープカップ（KeepCup）が贈られ、日本に帰国してからも、スペシャルティ・コーヒー運動に関心のある日本のパート

ナー・カフェで割引を受けられるシステムも構築しました。

メルボルンと日本はコーヒーを媒介に協力できることがたくさんあると思います。日本人はものづくりに見られるように、1つのことを深く追求することに優れています。メルボルンでは、イタリア系移民の歴史から伝統的なエスプレッソ・スタイルのコーヒーが多く飲まれますが、私は日本のパリエティーの豊かなコーヒー文化も素晴らしいと感じています。

それぞれの考えを一致させ理解し合うことが重要

作野: doq®では、オーストラリアに進出を考えている日本企業や経営者から、シドニーとメルボルンのどちらに進出すべきかという質問をよく受けます。それぞれメリットとデメリットはありますが、日本企業がメルボルンに進出することについてはどのようにお考えですか。

コラボス: 近年、オーストラリアの日本企業の70%がメルボルンに進出していると聞きました。Xodusでは脱炭素化と再生可能エネルギー分野に携わっていますが、再生可能エネルギー・プロジェクトはオーストラリア東海岸に集中しているため、西海岸の日本人クライアントが東海岸のオフィス所在地を探しているケースをよく目にします。メルボルンはシドニーよりも比較的家賃が安く、世界レベルの大学を始め、非常に強力で優秀な人材が集まっている都市です。もちろん、シドニーにも優れた大学があり、私たちは両都市の大学と協力していますが、メルボルンは、日本とオーストラリアの関係がどのようなものであるかという点で、もう少し広い視野を持っていると考えています。メルボルンには200社以上の日系企業があり、多様な分野にまたがっていますが、より顕著になりつつある分野はイノベーションとクリーン・エネルギーです。新規参入企業だけでなく、既に現地に根ざした企業の動きにも同じようなことが言えます。

作野: 最後に、日豪プレスの読者に向け女性リーダーからのメッセージ、アドバイスを頂けますか。

コラボス: 日本とオーストラリアは特別なパートナーシップを構築してきていますが、それぞれ自国の立場や価値観を当然のことだと考えないことが重要だと思います。AJBCVは設立60周年を迎えたばかりですが、日豪関係はそれよりも長く続いています。日本側にどのような期待があるのか、どのような情報やサポートが必要なのか、どのような文化的背景があるのか。それぞれの考えを一致させ、できる限り理解し合うために、皆さんも一緒に仕事をするオーストラリアの人びとに、考えや思いを伝えてください。

キャリア形成という点では、オーストラリアにいる日本人の方々には日本にいる時より自由な感覚を持っていると思うので、それを生かすと良いでしょう。人と意見が違っても良いし、自分の意見を表に出しても問題ありません。また、関係性だけを優先するのではなく、付加価値に基づいて客観的に



あなたのビジネスに適合するパートナーシップを選んで良いかと思います。オーストラリアではぜひ、ビジネスに関する自由を享受頂ければと思います。そして自分のキャリアを発展させるためには、社内であれ社外であれ、できるだけ多くの経験を積んで欲しいと思います。オーストラリアには終身雇用という概念があまりなく、転職も問題ありません。どのようなスキルを身に付けたいか、どのような経験をしたいかなど、信頼できる同僚やビジネス・パートナーと遠慮なくオープンに話し合うと良いかと思います。そして最後に、オーストラリアに来て頂きありがとうございます。別の国で働き、第

二言語でビジネスを行うということは、個人的な犠牲を伴うことでもあると思います。オーストラリア人として、改めてありがとうと伝えたいです。

作野: 素晴らしいコメント、ありがとうございます。

(インタビューは9月11日、撮影は13日シドニーで)

より多くの写真を盛り込んだインタビュー完全版、及び英語バージョンはQRコードから。For the English version, please click on the QR code



読書好き
集まれ!

最新BOOKS トレンド・チェック



協力：オーストラリア紀伊國屋書店
(Level 2, The Galleries, 500 George St., Sydney)

今、売れている本は？

👑 **ベストセラー・ランキング (2023年9月3～9日)**

■文庫ベストセラー

1	契り橋 あきない世傳 金と銀 特別巻 (上)	高田郁	角川春樹事務所
2	時々ボソッとロシア語でデレる隣のアーリャさん (7)	燦々SUN／ももこ	KADOKAWA
3	正欲	朝井リョウ	新潮社
4	52ヘルツのクジラたち	町田そのこ	中央公論新社
5	クスノキの番人	東野圭吾	実業之日本社

■新書ベストセラー

1	自衛隊の闇組織秘密情報部隊「別班」の正体	石井暁	講談社
2	言語の本質ことばはどう生まれ、進化したか	今井むつみ／秋田喜美	中央公論新社
3	裁判官の爆笑お言葉集	長嶺超輝	幻冬舎
4	ウクライナ戦争の嘘米露中北の打算・野望・本音	手嶋龍一／佐藤優	中央公論新社
5	第三次世界大戦に突入した世界	エマニエル・トッド／池上彰	朝日新聞出版

KINOKUNIYA便り

イベント・シーズンはすぐそこ。1年で最も心弾む季節になってきました。今年は山火事が少し心配ですが、気候が最高に良いオーストラリアのこの時期、体調を整えて思い切りイベントを楽しみたいですね。今回はブランド・ムックの特集です。手頃な値段で手に入れることができ、日本の良さも伝わるブランド・ムックは贈り物にもぴったりです。クリスマス・ギフトの候補の1つに検討してみたいかがでしょうか。

本好きにとって、トレンドに取り残されてしまうのはつらいところ。本連載では、シドニーCBDに店を構え、KINOと親しまれるオーストラリア紀伊國屋書店協力の下、トレンド・キーワードと共に読み逃さない話題の3冊と、日本のトレンドをキャッチするための最新ランキングをご紹介します。

街にはジャカランダが咲き乱れ、いよいよ春から夏に向けて活気あふれる季節になってきました。今回ご紹介したい本は“ブランド・ムック”というカテゴリーの本です。ムック本とは、雑誌 (magazine) と書籍 (book) を混ぜた和製英

語で、雑誌と書籍それぞれの性質を持つ出版物です。そこに各ブランドの付録が付いた本がブランド・ムックです。今回紹介する本以外にも店頭でいろいろ取りそろえていますのでぜひ手に取ってみてください。

ランキングからPick up!

正欲
朝井リョウ／新潮社



息子が不登校になった検事、啓喜。初めての恋に気付く女子大生、八重子。1つの秘密を抱える契約社員、夏月。ある事故死をきっかけに、それぞれの人生が重なり始める。だがそのつながりは、“多様性を尊重する時代”にとって、ひどく不都合なものだった——。読む前の自分には戻れない、気迫の長編小説。映画は2023年11月劇場公開予定。

今週のトレンド・キーワード「プレゼントにもなるブランド・ムック」

美髪の達人スカルプD ポーテが本気で考えた!

自立する頭皮ケアブラシBOOK
宝島社ムック局

宝島社 (A\$70.06<会員価格: A\$ 63.05>)



育毛や頭皮のエイジング・ケア・ブランドで真っ先に名が挙がる「スカルプD」。そのレディス・ライン「スカルプD ポーテ」から、髪と頭皮のことを本気で考える人に向けて、細部までこだわり尽くした、優秀な美髪ブラシがブランド・ムックとして登場。洗面所やデスク、鏡台など、どこにでも清潔かつスタイリッシュに置ける。

人気のムーミンお部屋ライト・シリーズ

MOOMINお部屋ライトBOOK ムーミンやしきver.
宝島社ムック局

宝島社 (A\$70.06<会員価格: A\$ 63.05>)



「置くだけで可愛い」「優しい明かりに癒やされる」と大ヒットのムーミンお部屋ライト・シリーズにムーミンたちが暮らす「ムーミンやしき」が登場。うちの明かりがふんわり優しく部屋を照らしてくれるような、おしゃれで可愛いライトに。ムーミンやしきにはムーミンやリトルミイ、スナフキンと仲間たちが勢ぞろい。

名作家具ブランドのポーチが付録

カリモク60 FANBOOK
宝島社ムック局

宝島社 (価格: A\$71.95<会員価格: A\$64.75>)



広い世代に人気のロングライフ・デザイン家具「カリモク 60」のFANBOOKが登場。付録はまさかの本物素材モケット・グリーンを使用し、Kチェアの縫製をイメージしたデザイン・ポーチ。あの触り心地を持ち歩ける、激レア・アイテムだ。ブランド・ヒストリーや生産風景、インテリア実用例など、本誌の内容も充実している。

豪州不動産の2023～24年予測情報

2023年も終盤が近づきました。社会の混迷を極めた新型コロナウイルス感染症の影響も拭い去られ、街には活気と豊かさが戻ってきた現在、不動産業界で何が起り、来年はどうなるのか——。今回は、豪州2大不動産情報サイトの1つ「DOMAIN」の資料を用いて紐解き、複雑に絡み合う要素を見据えた上で、豪州不動産購入の機会を考察します。

2023～24会計年度のエグゼクティブサマリー

DOMAINのレポートによると、オーストラリアの住宅市場は、2022年の低迷から2023～24年度の着実な回復を続けシドニー、アデレード、ホバートの価格は今後最大の上昇が見込まれています。ブリスベン、ゴールドコーストも過去最高値に近づくと思われる一方、メルボルンは22年の景気低迷で、これまでの中で3番目に深刻なもので、5四半期連続で住宅価格が6.5%下落しました。現在、景気後退時に失われた価値の約3分の1を取り戻し、過去30年間で最も遅い回復となります。また、キャンベラは一時的に鈍化されたが回復見込みと予想され、オーストラリア地方部は、都心より遅いながらも穏やかに成長すると言われています。つまり、各地での成長と停滞、今後の回復見込みに差があることが報道されているのです。

価格上昇圧力と住宅不足の悪化

建設業界は、技能不足、サプライチェーンの混乱、建設コストの高騰など、前例のない逆風に見舞われ景気減速を起こしています。パンデミックが始まって以来、住宅建設コストは32%、生産コストは22%増と、不動産製造価格の上昇につながり、その結果、既存住宅の供給不足が悪化。

また、今年度及び、来年度の海外純移住数は過去最高に達し、約30万戸の住居が必要とされますが、25年度は更に移住者が急増することが予測されています。都市部では、住宅の手頃な価格が依然として大きな障壁で、多くの住宅購入者は手頃な価格の地域市場、特に主要都市や雇用の中心地に近く、アクセスが良好な地域の市場を求める傾向にあり、NSW州、VIC州、QLD州が移住者の最大の割合を占めます。これらの住宅不足と建設コストの上昇は、価格上昇に対し更にプレッシャーを掛けると解説されています。

価格の下落要因と買い渋り

一方、上記で挙げた、避けられない不動産価格増加の背景とは別の圧力として、融資利率の上昇を懸念した購買者の意欲下落があります。コロナ禍により著しく下がった法定金利と銀行の融資利率により、一時的に購買者は増え、平均価格は上がりました。しかし、その状況から経済復興が実現した現在、むしろ不動産の価格上昇を抑制するために、金利が上がっています。ほんの数年とはいえ、下がった利率を見慣れた購買者にとって融資の利率の上り幅は精神的・経済的な脅威とも感じられます。それが「買い渋り」となっており、一部の不動産の価格下落もしくは停滞要因となり市場を複雑化しています。その特徴と豪州不動産購入の機会を考察しましょう。

地域格差と購買者心理

例えば、今後上昇が見込まれているシドニーは地域格差は激しく、それが大きな購買チャンスとなっています。都心から伸びる5本の鉄道路線沿いであってもその差は顕著です。東部のアップパー・エリアと北部は居住者の人気と需要により価格が高めであることは否めません。将来は西部に30%以上の人口が見込まれていますが、今だ西部パラマッタとその周辺の価格帯は前述の街より低めです。豊かな自然とのんびりした海辺の続く南部でも各街毎の平均値に差が大きいことは資料の上で明らかです。また北西部、南西部も比較的極端な値上がりを迎えていると言にくい状況です。

その他、現在回復が遅れがちであるメルボルンは、東部と西部の価格差がありますが、一時的に集合住宅の価格上昇の遅れが見て取れます。QLD州は、新型コロナウイルス感染症の悪影響がないまま右肩上がりが顕著です。これらの状況を客観的に俯瞰し、比較的遅めの回復

の都市、まだ上昇の波に飲み込まれていないエリア、そして都心部にも移動が楽になりつつある新交通網の近辺などを目案に、自身の新住居や投資を目標とし、不動産購入を考えるのも良いでしょう。

コロナ禍で上昇した土地価格により、例えばシドニーはコロナ禍前は戸建住宅の中値が1ミリオン以下だったのに対し、コロナ後は1.5ミリオンを前後しています。この状況により一軒家が庶民の手に届きにくくなった半面、利便性の良い場所の集合住宅へ購買者がシフトしています。かつて牧歌的なイメージが強かったオーストラリアは、需要に押され急激な街の近代化が始まっていると言えます。

これらの市場を冷静かつ客観的に見渡せば、高騰後の物件を避け、今後上昇見込みのある地域に投資としての資産運用を始める、またはまだ回復途中のエリアでの比較的lowめの価格帯で自身の手が届く堅実な不動産を自宅として手に入れることが可能になります。今年末まで施行されるファーストホームバイヤーの特典も有効です。まだ市場が冷えている地域のディベロッパーによっては、抑え目価格不動産を見出すことも可能な「格差があるのが現状」です。

また、土地の値上がりと共に戸建住宅の値上がりが激しい反面、集合住宅に人びとの居住や購買が移行しつつあります。外国からの流入者もアパートの方が手軽であることから今後需要が増すと思われます。利便性と将来の価値の情報を見込める場所にご自身の資産を構築するもの良いでしょう。不動産購入の判断は、信頼できる専門家にアドバイスを求めることをお勧めします。



鶴美枝

グローバル・インテリジェンス・マネージメント代表。創業2010年以来、豪州各地の優良不動産を厳選し、豪州及び日本在住のホーム・オーナー若しくは投資家の方々の購入をサポートし資産増幅、理想の住まいの確保に日々尽力中。日本と豪州にて法学部大学院卒業。豪州不動産フルライセンス保持



豪州不動産ならGIM 豊富な在庫と手厚いサポート

将来に向けて夢のマイホーム、資産形成を
じっくりGIMと考えてみませんか？

グローバル インテリジェンス マネージメント / GIM キャピタル プロフェッショナル株式会社
GIM代表 鶴美枝

本社住所: 313/3, Spring St, Sydney NSW 2000
ノースシドニー支社: 100 Walker St, North Sydney NSW 2060
連絡先: 英語総合 02-9235-2908 日本語直通 0421-458-081
E-mail: info@gimanagement.com.au
Web: https://gimanagement.com.au - お気軽にご相談ください -

皆様のお陰で
13周年

GIM

第92回 懲罰的損害賠償による処罰

豪州の裁判所が懲罰的損害賠償を裁定することは、めったにありません。今回は、懲罰的損害賠償の目的やその性質についてお話ししたいと思います。

通常、裁判所は、金銭的損失やその他の経済的不利益を被った場合に、賠償金を与えること、つまり、弁済や金銭的補償を与えることに重点を置いています。例えば、交通事故でけがをして働けなくなった時に、給与損失分を請求するような場合です。

懲罰的損害賠償額は、誰かの所得損失額と直接的な関係はありません。通常の損害賠償額を上回る分が懲罰的損害賠償金です。懲罰的損害賠償の目的は、被告を罰し、将来における同様の行為を抑止することです。被告の行為に対する非難の証である懲罰的損害賠償の裁定は、全て裁判所の裁量に委ねられています。

懲罰的損害賠償の例として、プリズベン高等裁判所で最近私が担当したケースをご紹介します（「Gardiner v Doerr [2022] QSC 188」 Web: www.queenslandjudgments.com.au/caselaw/qsc/2022/188）。このケースでは、早朝、就寝中に何者か（覆面と手袋着用のため、当初は不明）が被害者である依頼人の自宅に侵入し、身体的暴行を加えました。暴行の最中に覆面が外れ、加害者は元夫であることが判明しました。

一審のクーパー裁判官は被告に対し、総額96万7,113.40豪ドルの賠償命令を下しました。賠償額の一部として、裁判官は被告に対して5万豪ドルの懲罰的損害賠償を課し、更に賠償額に対する1万7,600豪ドルの利息を追加しました。

その後、被告は、賠償責任（被告に対する過失の認定）と量刑（賠償額の算定）の両方を争うため、控訴しました。控訴裁判所は控訴を全面的に棄却し、被告に賠償金の支払いを命じました（「Doerr v Gardiner [2023] QCA 160」 Web: www.sclqld.org.au/caselaw/QCA/2023/160、控訴裁判所の3人の裁判官の判決はこちらをご参照ください）。

懲罰的損害賠償の目的は、被告を罰することであり、被告及び他の者が同じまたは同じような

行動をとることを抑止することです。抑止力は、被告に賠償金総額の一部として追加的な金銭の支払いを要求することによって生じます。これは民法上の抑止力であり、刑法上の抑止力とは全くの別物です。

このように、懲罰的損害賠償の目的は、被告の非難されるべき行為を裁判所が咎めて罰することです。

裁判所が懲罰的損害賠償を認めることは稀ですが、懲罰的損害賠償が認められる行為には以下のようなものがあります。

- ・悪意
- ・権力の乱用
- ・残虐行為
- ・暴力

また、懲罰的損害賠償は、原告への正当な弁明が癒しのプロセスを助ける「治療的法学」の一部であると考えられています。懲罰的損害賠償は一般的ではありませんが、このような民事罰は、個人が暴行被害を受け採用されるケースが多いです。

では、懲罰的損害賠償が認められる状況とはどのようなもののでしょうか？ 答えは、被告の行為に関するものです。1920年に豪州最高裁判所で判決されたホイットフィールド（Whitfield）事件で、ノックス最高裁長官が宣言したように、「他人の権利を軽率に無視した意識的な不正行為」が、懲罰的損害賠償に該当する行為であるかどうかです。

豪州では、製造物責任に関連する民事賠償請求や、州政府が導入しているさまざまな法律において、懲罰的損害賠償が禁止されています。その理由は、刑法では懲罰、民法では賠償とされている機能と、懲罰的損害賠償の原則が混同されているからです。

刑罰は、民法上の要件とは異なるリーガル・テストを用いる刑法の領域に限定されるべき、と考えられてきました。その最たる例が、刑事被告人には「合理的な疑いを越えて」という厳格なリーガル・テストに基づく立証責任が保障されていることです。対照的に、民事事件の被告は、「蓋然性のバランス」に基づく低いリーガル・テストによって責任を認定される可能性があります。

補償的損害賠償に加えて、懲罰的損害賠償を課すことの妥当性に対する反論として、例えば、無保険の個人が関与する民事事件では、非難されるべき行為に責任があると判断されても刑法上の有罪判決の汚名や投獄のリスクは残らない、などがあります。

私が担当したケースでは、適切な状況で懲罰的手段として懲罰的損害賠償が認められたことが、民法上の賠償分野における基準となりました。

クーパー裁判官は判決文の中で、懲罰的損害賠償の性質について言及し、その立場を要約しました。懲罰的損害賠償は、被告やその他の人びとに対する抑止力として機能し、被告の行為に対する裁判所の非難を示すために認められるものです。

私が担当したケースでは、被告は地方裁判所での裁判の結果、無罪となったため、暴行行為について刑事罰を受けることはありませんでした。しかし、民事裁判の目的で、クーパー裁判官は被告が暴行をしたと判断しました。

では最後に、フランスの哲学者、ミシェル・フーコー（Michel Foucault）の言葉を。“犯罪者を犯罪に駆り立てた力をそれ自体に向けよ”



ミッチェル・クラーク

MBA法律事務所共同経営者。QUT法学部1989年卒。豪州弁護士として30年の経験を持つ。QLD州法律協会認定の賠償請求関連法スペシャリスト。豪州法に関する日本企業のリーガル・アドバイザーも務める。高等裁判所での勝訴経験があるなど、多くの日本人案件をサポート



ミッチェル・クラーク



中瀬 恵子

MBA 法律事務所 ジャパンリーガルサービス 人身傷害・賠償請求法のスペシャリスト

オーストラリアで事故（交通事故や労災等）に遭い怪我をしてしまったら、
ビザに関係なく、まずはMBA法律事務所にご相談ください。

初回ご相談無料

日本語対応

「成功報酬制」+ 後払い

賠償請求に要する費用のお支払いは賠償金受領後、かつ賠償金額を超える自費負担のリスクがない「成功報酬制」を採用しています。1970年設立の当事務所は約半世紀に渡って信頼の厚いサービスを提供し続けています。事故案件の対応はパートナー弁護士のミッチェル・クラークが担当、日本語で承ります。人身傷害法の分野で最高レベルのスペシャリストとしてクィーンズランド州法律協会が認めた弁護士率いるチームが丸となって不運にも被害に遭ってしまった方を全力でサポートします。

MBA.
LAWYERS



◇ 新オフィスに移転しました ◇

Robina Town Centre
Level 1, Shop 5003 Robina Town Centre
Robina QLD 4226
Tel: 07-5339-9688
Email: mbajapan@mba-lawyers.com.au
Web: www.mbalawyersjapan.com

G632MACD

豪州ビザ 最新事情



清水英樹

オーストラリアQLD州弁護士。在豪30年以上。地元大学卒業後、弁護士資格を取得。フェニックス・グループCEOとして傘下にあたる「フェニックス法律事務所」、ビザ移民コンサルティング「Goオーストラリア・ビザ・コンサルタント」、交通事故ならびに労災を専門に扱う「Injury & Accident Lawyers」を経営

最近の傾向と対策について

前回、前々回と7月1日以降の移民法改正について、その時点で分かる範囲で情報提供しましたが、その後も幾つかの改正が行われています。

その1—408パンデミック・ビザ

やはり豪州政府もCOVID-19による労働力不足は解決してきているという判断でしょうか。段階的ではありますが、新規（学生ビザなど別のビザから408パンデミック・ビザへ）の申請は9月1日をもって終了。しかし、2024年1月末日を期限とし、28日以内に失効する408パンデミック・ビザ保持者を対象に申請料405豪ドルで最大6か月までの再申請が可能です。

その2—サブクラス188事業投資家ビザ

ポイント制の技術ビザは限定的にEOI（Expression of Interest：関心表明書）受付を再開していますが、188事業投資家ビザについては2023-24会計年度の招待状発行部数が未だに割り当てられていないことから、当面、再開の見込みはなさそうです。

技術ビザについても限定的な受付になる見込みのため、これらのビザ申請を検討している人は、他のビザ申請も平行して検討すると良いかもしれません。

その3—コンプライアンスの強化

最近の傾向として、雇用主スポンサー型の就労ビザに対する取り締まりが厳しくなっています。その結果、サブクラス482ビザをスポンサーする雇用主（主に飲食業など）に対して抜き打ちの監査を含め、ビザ保有者に対する給料や労働条件の確認など、厳しい目が向けられるようになりました。

サブクラス482ビザを始め、外国人労働者を雇用する事業主は移民法に関する条件だけでなく、労働関連法に関してもきちんと理解した上で雇用することがますます重要となっています。不安がある場合は手遅れになる前に専門家に確認することをお勧めします。

その4—学生ビザ

学生ビザを利用して豪州に働きに来るという問題点が改めて指摘されており、その対応に本腰を入れるという発表がありました。昨今、GTE（Genuine Temporary Entrant：真面目な就学を目的とするビザ申請か否か）の審査があり、日本人を含め非常に厳しくなっています。現在、留学に掛かる資金に関する申告が必要で、場合によっては残高証明書などの提出も必要になります。10月1日以降、12か月の生活費（授業料、渡航費を除く）として2万4,505豪ドル（約2,042豪ドル/月）以上の資金証明が必要になります。



PHOENIX

LAW & ASSOCIATES フェニックス法律事務所

在豪歴30年以上の信頼と実績

個人並びに法人の様々なニーズに専門家が対応いたします。



取り扱い案件例

- 商業案件各種
- 交通事故
- 傷害賠償手続き
- 労働災害
- ビジネス売買
- M&A案件
- 国際取引契約手続き
- 各種民事訴訟・裁判
- 家庭法（離婚・財産分与・親権）
- 遺言状・相続計画
- 雇用関連・不当解雇
- 各種ビザ、移住コンサルティング、AAT調停、市民権

みんなの将来の  聞かせて下さい!

ホーンズビー日本語学校

シドニーで日本語学習や、アクティビティーを行っている子どもたちに「将来の夢」を聞き記録を残していく企画。今回は、ホーンズビー日本語学校の中級1クラス(小学3、4年生) 12人に将来の夢をお寄せ頂きました!



- 化石の発くつの研究がしたいです。
- オリンピックの水泳選手。
- 将来、パティシエになりたいです。
- サッカーせんしゅになりたい。
- けいさつかんになりたい。
- カフェやお料理やささんになりたい。

デニー理央
スローン・エリ
鐵池和美
キーンひなた
高しおん
大澤希

- 将来、子どもの医者になりたい。
- 小学校のせんせいになりたいです。
- プロダンサーに、になりたいです。
- バスのうんでんしゅになりたい。
- テニスせんしゅになりたいです。
- ゲームをつくる人になりたいです。

オレリア・ザン
林モナ
荻野芽衣
嶋本康大
キャメロン・ロバート
チャンドラ瑛隼(エイト)

4788SYDN

確かなバイリンガル力で世界に羽ばたく

日本人学級と国際学級を併設

Two curriculums. One school.

Japanese Curriculum
Y1-9

NSW Curriculum
K-Y6



JAPANESE INTERNATIONAL SCHOOL
シドニー日本人国際学校

オンライン説明会
日本語 11月16日(木)
英語 11月17日(金)

Scan me

プライベートツアー、
オンライン説明会の
ご予約はこちらから



編入学アプリケーション随時受付





興味があるもの何でもリポート!

帰ってきたBBKコラム

— 子育てパパ奮闘編(?) —

主な登場人物



BBK (僕、40代半ば)



MEG (妻、年齢不詳)



カイト (兄、3歳)



アリス (妹、1歳6カ月)



アビー (雌猫、16歳位)

メルボルンで起きた、一夜の“奇跡”

2022年最後の日、僕たちファミリーは一時帰国を終え、オーストラリアに帰国したのだが、ロスト・バゲージの憂き目にあった。妻の荷物2つはすぐに出てきたものの、山ほどある全乗客の荷物の中で、僕の荷物2つだけが出て来なかったのである。

空の旅で、これまで2度ロスト・バゲージの経験があるが、積み忘れ、他の国に行ったなど原因はすぐに分かった。しかし今回は「積んだと記録されている。誰かが間違っただけだ」と告げられた。特徴的な目印が付いている2つを同時に間違えることなどあり得るのか？現実味がわからず、心中には暗雲が垂れ込めた。結論を言えば、荷物は4日後、無事自宅に届けられた。しかし何があったのか、真相は未だ闇の中だ。

なぜ今になって1年近く前のことを書いたかと言えば、今回お伝えするメルボルンでの事件がこの出来事を序章的に想起させたからだ。

事件解決までの準備時間は2時間

8月中旬、クライアント主催のイベント参加のためメルボルンを訪れた。ホテルに午後3時にチェックインし、すぐにラップトップを広げる。イベント会場のオープンは午後5時半。約2時間、集中して仕事ができる計算だ。途中でバッテリー残量が心もとないことに気付き、充電器を取り出すためにスーツケースに手を掛ける。

「ん？ 引き手が取れている？」

僕のスーツケースは2つの引き手部分をそれぞれの穴に“かちり”とはめる昨今主流のタイプのものだが、引き手が穴にはまっていなかったのだ。

暗証番号をセットすればロックされるが、していなければボタンを押せば外れる。

「セットし忘れ、何かの拍子で外れた？」

そんなことを考えながらスーツケースを開けると入れた覚えのないスカーフが目に入る。

「メルボルンは寒いからと妻が気を利かせて追加してくれたのか」

感謝の気持ちすら抱きながら荷物をまさぐるが、すぐに自分のものが1つも入っていないことに気付く。そのスーツケースは、なんと赤の他人のものだったのだ。中に入っているのは全て女性ものの、更に服用薬なども大量に入っている。持ち主は高齢の女性に違いない。だが、しかしなぜ？

パニックに陥りながらも考えしたのは、ファースト・プライオリティーである夕方からのイベントに行けるかどうか。幸いにも僕は朝からスーツに革靴で動いていた。現場で必要な名刺入れもビジネスバッグに入っている。そして非常に幸いなことにスーツケースにはiPhoneの充電器が入っていたため、スマホは使える。ネクタイなど足りないものもあったが、乗り切れると判断。

次に“いつ入れ替わったのか”を考える。スーツ

ケースは機内に持ち込んだため、空港での取り違えはない。となると、空港からシティへのシャトル・バスだ。乗り込む際の荷台はスカスカ、2段式の荷台の下段右方に荷物を置いた。バスを降りるのが最後の方だったこともあり、下段右方に唯一残ったスーツケースを手にし、降りた。要するに、僕より後に乗った誰かが同じ場所に同じブランド、カラーのスーツケースを置き、僕より先にバスを降りる際取り違えてしまったわけだ。

まずバス会社へ電話。「誰かが間違っただけだ」と話すと「ウェブサイトのロスト・プロパティのページからクレームよろしく」とのこと。すぐにサイトを開き「相手も旅行者で近くにいた可能性が高いので、問い合わせが着たらすぐに僕の番号を先方に知らせて欲しい」と書いた。次の問題はラップトップの充電がなくなり、継続できない仕事が出てくること。スケジュール変更など各所との調整を行う。

それらを終えたところで時間は午後4時15分。次にやることは歯ブラシ、洗面道具、寝巻きや下着の替えなど宿泊に最低限必要なものの調達だ。メルボルンCBDのKマート（日用雑貨品などの格安店）へと走る。久々のメルボルンで、まさかKマートに走ることにとなるとは思いもしなかった。

午後5時、ホテルへと帰還。できることはやりきったが、更なる事態打開策を見つければブラックボックスであるスーツケースの検分。失礼は承知で中身を細かく見させて頂く中、僕は見つけた。奥の方に小さく折りたたまれた用紙の束を。

もしも僕が悪い人だったら

その用紙は、彼女にとってのまさに生命線で、彼女のオンライン銀行やクレジットカード、アマゾンプライムほか、利用中のサービスのオンライン・アカウント情報などのメモがパスワードも含めて数ページに渡って記載されていた。電話番号など直接のコンタクト情報は見つけられなかったものの、アカウント名に共通しているワードから彼女の名前がRさんだということがまず分かった。そんな中、これはおそらくメアドに準ずるものではなかろうかという文字列を発見したのである。イベント会場に向かう道すがら、僕は憶測のメールアドレスにメッセージを書いた。

「あなたの荷物を持っていると思う。そしてあなたは僕の荷物を持っているはず。こちらも困っている。連絡されたし。042*-***-***」

驚くほどの個人情報、そして服用薬の数々。緊急度は僕以上に、先の方が大きいに違いない。彼女のためにも、早急に解決したいと願った。

2時間後、イベント参加中の僕のスマホが鳴った。

「私はR。今メールを見た」

「僕は今ビジネスのイベントに参加しているか



スーツケースを運んだホテルでRご夫妻と

ら早くても9時は過ぎるがそれからの受け渡しは可能？ ホテルはどこ？」

「もちろん。ホテルは〇〇」

「イベントが終わったらすぐに向かう。また連絡する」

「私は高齢で今日の移動で疲れ切っているの。本当に助かる。ありがとう」

イベント終了後、僕は自分のホテルから彼女のホテルまでスーツケースを引きずりながら街を練り歩いた。ホテルに到着すると、ラウンジにいた老夫婦に出迎えられた。

「あんな個人情報スーツケースに入れてはだめですよ（笑）僕が悪い人だったら大変なことになっていた」

「分かっている」

「だけど今回はそれが功を奏しましたね」と笑い合った。

年始に続きまたかとは思った。大変ではあったが、一方で何やらすてきな体験をしたような余韻にも浸っていた。

夜空を見上げ、シドニーの方角を向きつづやく。

「MEG、カイト、アリス、アビー。パパは今日大変な思いをしたけどなんだか少し幸せな気分だ。明日君たちの元に帰れるのを楽しみにしている」

シドニーとはまた違う、メルボルンの夜の街をゆっくりと歩きながら僕はメルボルンで人気のルーフトップ・バーに向かい、静かに祝杯を上げた。

馬場一哉 (BBK)

雑誌編集、ウェブ編集などの経歴を経て2011年来豪。14年1月から「Nichigo Press」編集長に。21年9月、同メディア・新運営会社「Nichigo Press Media Group」代表取締役社長に就任。バスケ、スキー、サーフィン、筋子を愛し、常にネタ探しに奔走する根っからの編集記者（だったが、現在は会社経営に追われている）。趣味ダイエツト、特技リパウンド。料理、読書、晩酌好きのじいじ気質。二児の父



森奈津美さん

NATSUMI MORI

ヤマハモーターオーストラリア マネージング ディレクター アシスタント
Yamaha Motor Australia Pty. Ltd. Assistant to Managing Director

ニックネーム：森ちゃん、なっちゃん、ナタリー
世代：低学年で土曜登校が廃止された"THEゆとり世代"
着任：2018年3月1日
出身：兵庫県神戸市
住まい：Sydney St Leonards

業務内容：オートバイや船外機を中心とした
多種多様な製品・サービスの販売

仕事内容：無人ヘリコプターを使った薬剤散
布、点検サービスなどの豪州&NZ市場開拓

趣味&休日：おいしいワインを求めてワイナ
リー巡り、オシャレなカフェ探し、旅行

特技：人の名前を覚えること。Google Maps
から良さそうな店を見つけること

好きな言葉：「神は乗り越えられる試練しか与
えない」—— 苦しいことがあっても、その経験
のおかげで今の自分があると言えるから

好きな有名人：ココ・シャネル——色褪せない
ファッション・センスと信念の強さにあこがれる

おすすめの一冊：『その「決断」が全てを解決
する』（マーク・マンソン著）——一度きりの人
生、大切にすべきことは何かを考えさせられる

好きなレストラン：「Alberto's lounge」——
パスタはもちろんお肉も絶品。おしゃれな雰囲気
も相まって、いつ訪れても気分が高まる

読者へのコメント：海外生活中は文化や考え
方の違いで自分の思い通りにいかないことも。
「No worries」精神で毎日を楽しみましょう！



次回はどなたにバトンを？

JTB Australiaの戸田康太 (Kota Toda) さん——いつも
明るく何事にもポジティブで、可愛い弟分のような存在で
す！

column
学び福島先生の
人生日々勉強

教育専門家：福島 優子

教育相談及び、海外帰国子女指導を主に手掛ける。
1992年に来豪。社会に奉仕する創造的な人間を育
てることを使命とした私塾『福島塾』を開き、シドニー
を中心に指導を行う。2005年より拠点を日本へ移
し、広く国内外の教育指導を行い、オーストラリアに
住者への情報提供やカウンセリング指導も継続中

限りある命

ラテン語に「メメント・モリ」という言葉があり
ます。「いつか自分に訪れる死を忘れるな」とい
う人間への戒めであり、今日の繁栄も明日はど
うなるか分からないと知っておくことが大事だ
と教えています。日本でも、平家物語の冒頭の
一節に「盛者必衰の理」があります。どんなに
勢いが盛んな者でも必ず衰えるという道理を表
しています。この世の全ての現象は絶えず変化
し、繁栄は永遠には続かず、いずれ滅びるのが
自然の理であることを意味しています。

しかし現実には、元気はつらつと暮らせてい
る間は自分の命が有限であることを忘れがちで
す。それは東西問わずいつの時代も変わりませ
ん。肉体という器が1つしか与えられていないこ
とが、有限の命の所以でありながら、その体に
宿る精神により、終わりを意識せずに暮らす一
因になっています。

小学生や中学生だったころ、先生や親の世
代、時にはそれほど歳が変わらない先輩でさ
え、幼い自分とは隔絶した「大人」という感覚
があったのではないのでしょうか。ところが時が
経ち、自分がいざその年齢になってみると、中
身の精神性に大した変わりがないことに情けな
さを感じたり、苦笑してしまうような感覚を抱く
ことがあります。

おそらく客観的に見れば外見が年を経て変
わっているのと同じように中身もまた変わって
いる部分があるでしょう。しかし、本人にして
みれば、自分という存在がずっと変わらないよ
うに感じられるというのは誰しも同じなのかも
しれません。人生を通じて幼いころから今まで
の自分について一貫してずっと同じ「自分」で
あると感じられる自己同一性の感覚というのは、
人間が生きていく上で必要なのだと思います。
しかし、この自己同一性の感覚があるせい
か、私たちはいつも自分の人生がまだ随分先ま
で続いていくものだ何となく感じてしまってい
る部分があるのではないのでしょうか。

命には終わりがあります。分かってはいても、
自分がいつか死ぬということは受け入れがたい
ものです。しかし、あと何年生きられるのか、時
折客観的に考えてみることは良いことかもしれ
ません。自分に残された時間を具体的に想定
してみると、自分の限りある人生について、より
現実味を持って感じられるのではないでしょ
うか。天災や病、老いに苦しむ日々が少なから
ずあるでしょう。たくさんの方の別れもあるでしょう。
それでも、ほんのひと時の楽しみや美しい景色
を喜ぶ心を頂いたことをうれしく思い、感謝し
て生きることができれば幸いです。

おいしいもの食べ隊!

日豪プレススタッフがグルメ隊を発足。
シドニーで見つけたおいしいものをご紹介します!

Vol.2

ラーメン激戦区のシドニーから3杯を厳選!

無理は禁物!
辛さ病みつき3段階の
コク旨ラーメン



火山道 (Kazando)
Shop G4A Cinema Complex, 505 George
St., Sydney NSW 2000
Instagram: @kazando_ramen

激辛ラーメン (Gekikara Ramen)

博多元助 (Hakata Gensuke)
Regent Place Shopping Centre, 105
Bathurst St., Sydney NSW 2000
Instagram: @hakatagensukesydney



あっさりした
豚骨スープに細麺の
本格博多ラーメン

豚骨ラーメン (Signature Tonkotsu)

LONG NAME (Signature)

濃厚スープに
コシのある麺が
絶妙に絡み合う!



万福 (Manpuku)
3/197 Military Rd., Neutral Bay, NSW 2089
Instagram: @manpuku_neutralbay

巨匠たちの特別展でアートに浸る夏



Louise Bourgeois 'Maman' 1999, installed during the exhibition 'Louise Bourgeois: To Unravel a Torment', Museu de Arte Contemporânea de Serralves, Porto, 3 December 2020 - 20 June 2021 © The Easton Foundation, photo: Filipe Braga

この夏、NSW州立美術館では、近代アートの巨匠たち「カンディンスキー展」と「ルイーゼ・ブルジョワ展」が開催される。

抽象絵画の先駆者の1人であるワシリー・カンディンスキー。50点以上の作品が集められたこの展覧会は、彼のミュンヘンでの創作活動の始まりから、モスクワ、ドイツそしてパリと、革命や世界大戦などに翻弄された時代に生み出された作品を通じて、類まれな芸術家としての生涯の全貌をたどる。今回は、多数のカンディンスキー作品を所蔵するニューヨークのグッゲンハイム美術館との共同企画で、豪州では過去最大規模のものとなる。

そしてもう1つは、パリで生まれ、ニューヨークで活躍したルイーゼ・ブルジョワの展覧会。今回は70年にわたるキャリアを持つ彼女の120点以上の作品を展示し、国内で開催されるブルジョワ展としては最大規模のもの。北館地下2階の「昼」の明るい部屋から、タンク・ギャラリーの「夜」の暗い部屋へと移動しながら、昼と夜、愛と憎しみ、静寂と混沌、そんな極端な感情の世界に足を踏み入れてみたい。また、彼女の世界的に有名な作品「Maman (1999)」が国内で初めて展示されるのも見どころだ。

両展覧会のチケットはウェブサイトで発売中。無料日本語ツアーの開催も予定している。詳細はウェブサイトを確認を。

Art
Gallery
NSW

Art Gallery of NSW

ニュー・サウス・ウェールズ州立美術館。常設展入場無料。本連載は美術館の日本語ボランティアガイドが担当。「件名: Japanese Tour」でEメールによる日本語による問い合わせ可。Web: www.artgallery.nsw.gov.au
Email: volunteerg@ag.nsw.gov.au

カンディンスキー展: 11月4日～2024年3月10日 / ブルジョワ展: 11月25日～2024年4月28日



NICHIGO PRESS

全国各州で絶賛配布中！

NICHIGO PRESS 配布場所はウェブサイトでチェック。

Web: nichigopress.jp/topics-item/38455/

オーストラリア全国のNICHIGO PRESS 配布場所がウェブサイトで見つかる！

場所・店名住所など詳細も確認できる！

もちろん、スマートフォンからもアクセスできます。



バックナンバー（電子版）のダウンロードはこちらから ▶ nichigopress.jp



配布設置に関してのお問い合わせ: npsales@nichigo.com.au

日豪 フットボール 新時代



植松久隆 (タカ植松)

ライター、タカの呟き「永田のブログは、某有名ブログ・プラットフォームのサッカー選手ランキングで頻りに上位に顔を出す。周りは誰もが知るような有名選手の名前ばかりの中で、2017年以来、地道な発信を続けてきた永田のブログが大いに読まれているのは、まさに“継続は力なり”を証明している」

情熱

9月某日、「バングラデシュに来月から戻ります」とスマホにメッセージが届いた。その送り主の名は、永田羽竜(29)。これまで多くのフットボーラーに会ってきたが、永田ほど誰もが口をそろえてその人間性を褒める選手はそうはいない。ジュニア・ユースから一貫して主将を務めてきたというのもさもありなん。現所属ロッチデール・ローヴァーズ(NPL/QLD州1部、以下「ロッチデール」)では、センター・バックで主将。試合前はロッカー・ルームで、試合中はピッチ上で母国語ではない英語でチームを鼓舞し続けた。

そんな永田がブリスベンの地を踏んだのは7年前、大学4年生の卒業直前だった。その時にチャンスを得たのが現所属のロッチデール。同クラブでの2年を含む彼の“豪州第1章”は、QLD州内での通算3年で幕を閉じた。

その後、次なる挑戦の舞台となったのがバングラデシュ。縁あって首都ダッカの強豪モハメダンに移籍のチャンスをつかんだ。

「だめな人は絶対にだめでしょね」。本人いわく「あらゆるネタの宝庫」という日本とも豪州ともかけ離れたバングラデシュでのエピソードは、彼の公式ブログに譲ろう。「そんな環境でも苦にならなかった」という永田は、けがとコロナに苦しみながらもプロとして濃密な3年を過ごした。



今季は主将として常にチームを引っ張った(本人提供)

前十字靭帯断裂の大けがで帰国後、けがが癒えてからは再びブリスベンに戻った“豪州第2章”。NPLに昇格した古巣ロッチデールに今季から復帰、降格も危ぶまれたシーズンを主将として戦い抜き、大方の予想を覆して残留へと導いた。

その永田が、前回在籍時に未達の“リーグ優勝”という大目標のために古巣モハメダンに請われてバングラデシュに戻る。プロとしてやり抜きたい——。そんな熱い思いを抱いて、9月末に豪州を離れ“バングラ第2章”をスタートさせる。その人間性やプレー・スタイルにしっかりと宿る情熱を持ってすれば、今回こそは目標達成。そんな気がする。

豪州ラグビー 通信

ラグビー・ワールド・カップ、そしてワラビーズ

ラグビー・ワールド・カップ(W杯)がフランスで開催された。前回の日本大会(2019年)が行われたのは、コロナ・パンデミックのわずか数カ月前。その後は東京五輪を始め、多くのスポーツ・イベントが中止、延期、または制限を設けての開催などさまざまな影響が出た。それを考えると、今回、無事に開催されたのは運が良かったのではないと思う。開幕戦では開催国のフランスが地元サポーターの前でニュージーランドに勝ち、大いに盛り上がった。それと並ぶブルー・ステージ屈指の好カード、アイルランド対南アフリカ戦は、アイルランドが勝利。いずれも世界最高峰にふさわしい戦いで観客を魅了した。

そして南半球の雄、豪州代表ワラビーズは、2戦目でフィジーに敗れ、決勝トーナメント進出に後がない状態で臨んだウェールズ戦で6-40という記録的大敗を喫した。2度の優勝を誇るワラビーズにとっては過去最低の結果となり、その矛先は今年就任したヘッド・コーチ(HC)、エディ・ジョーンズへと向かった。試合後の会見では辛辣な質問もあり、若手を多く起用した今大会のスコードについて、更には一部のニュースで報じられた日本代表HCに復帰するのではないかと内容にも及んだ。

W杯では、優勝すればその選手たちが輝き、



エディ・ワラビーズの続編に期待!

結果が出なければHCが一切の責任を負うことになる。そのような状況も想定内なのか、毅然と対応したエディ・ジョーンズHC。今回の結果について残念ではあるが、当初の予定通り、オーストラリア開催となる2027年のW杯までにワラビーズを成長させ、自身のキャリアの集大成となる栄光を見せて欲しいものだ。W杯を戦った若い選手たちにも前を向いて欲しい。

Sunday Footy!!

毎週日曜日(10:30~12:30)、フィッシュ・マーケット近くのウェントワース・パークでは、ラグビー好きの老若男女が集まりタッチ・ラグビーを楽しんでいます。初心者も大歓迎、皆さんぜひお気軽にご参加ください!
Yasu 0412-553-535

YASU

「一度きりの人生、楽しまなきゃソンソン」という感じで、好きなラグビーを楽しむため、約10年間勤務した会社を退職し来豪。ローカルのクラブで10年以上プレーし、もはやラグビーが文化として根付いているこの国から動けなくなっている。日本ももうすぐこうなるかな? 大の犬好き

Go! ワラビーズ
in Japan

山田美千子

ラグビーに魅せられおおよそ20年。「強い時も弱い時も、ナンバー・ワンはいつでもワラビーズ!」と、自他共に認めるワラビーズ・オタク。歴代の愛犬の名前はワラビーズ選手が由来。得意なことは、ワラビーズの次世代エースを見つけること。苦手なことは、写真を撮られること

ラグビー・ワールド・カップ2023が開催

日本中がラグビー色に染まったラグビー・ワールド・カップ（以下、RWC）日本大会から4年。2023年9月8日、待ちに待ったRWCフランス大会が開幕した。

開幕戦は開催国フランスがオール・ブラックスを下した。自国開催のプレッシャーを見事にはねのけた勝利と言えるだろう。

日本を活躍の舞台にしているワラビーズのバーナード・フォーリー選手、クウェイド・クーパー選手は、残念ながら代表入りがかなわなかったが、代表入りしたマリカ・コロインベテ選手、サム・ケレビ選手の安定した活躍もあり、我らがワラビーズはジョージア戦を35-15の勝利で飾り、幸先の良いスタートを切った。

今回はRWCについて思うことを書きたい。

初戦で目を引いたのが15番のベン・ドナルドソン選手のキックだ。緊張があったのか1本目こそ外してしまったが、その後は全て冷静に決め、勝利に大きく貢献した。安定したキック力は彼の今後のキャリアにとって大きな武器となるだろう。次戦以降も、安定したキックをキープし続けて欲しいところだ。

そしてもう1人、忘れられない存在になったのが、14番を背負ったマーク・ナワンガニタワセ選手。彼の持つスピードやパワー、そして献身的



A代表で来日した時のナワンガニタワセ選手

なプレーは光り輝いていた。非常に魅力的だった。RWCという大舞台で更なる成長が期待される。

一方、日本の初戦の相手は初出場の南米チリ。通称“ロス・コンドレス”というチームがどのようなラグビーをするのかとても楽しみだった。

洗練されたラグビーではなく、武骨なラグビーで激しいタックルの連発があり、日本は42-12と大差で勝利したが、楽な試合ではなかった。

史上最弱と言われる今大会のワラビーズ。プール戦を2勝2敗で終えた今、決勝トーナメント進出はかなり厳しく、史上初の予選敗退の可能性も。良い知らせを待ちたい。

タスマニア巡り



稲田正人

タスマニアのツアー・ガイド／コーディネーター。タスマニア大学で動物学・環境学を学んだ後、のんびりゆったりした生活感に魅せられ、そのままタスマニアに在住。現在は現地旅行会社AJPR (Web: www.ajpr.com.au) に勤務する傍ら、多過ぎる趣味に追われる日々を満喫中

第25回

自然の神秘、マラクーパ鍾乳洞

タスマニアにある19の国立公園の中でもひと際異彩を放つのがモールクリーク・カルスト国立公園。州内では珍しい、カルスト地形でできた鍾乳洞群がメインの国立公園です。公園内には総数400以上とも言われる鍾乳洞が点在しており、一般に立ち入ることができる場所は2カ所だけ。今回はそのうちの1カ所、マラクーパ鍾乳洞 (Marakooopa Cave) を紹介します。

マラクーパ鍾乳洞はロンセストンから西に約1時間半の北部中央に位置しています。同鍾乳洞ともう1カ所のキング・ソロモンズ鍾乳洞を訪れるには、安全と保護の観点から、国立公園が催行する約1時間のツアーに参加する必要があります。ツアーの人数も20人ほどの上限があるので、特にホリデー・シーズンは予約が必須です。

ビジター・センターで手続き後、いよいよ鍾乳洞へ。出入口は同じですが、鍾乳洞内部にはキャセドラルとアンダー・リバーの2ルートがあります。キャセドラルは階段が多く、アンダー・リバーはほぼ平坦といったところ。とは言え、どちらに参加しても数万年から数百万年の時を掛けて作られた神秘的な鍾乳洞はまさに圧巻のひと言です。自然の造形美、照明が当たると輝く方解石たちは、鍾乳洞が現在進行形で成長を続け



ライトアップされた鍾乳石は芸術的

ている証し。ストローのように細く長く成長した鍾乳石の先にゆっくりと水滴がたまり落ちていくさまは時を忘れ眺めてしまいます。また、ガイドの話も鍾乳洞の作られ方からマラクーパの歴史に及び興味深く、あっという間に時間が過ぎます。

鍾乳洞のもう1つの見どころは、入口から10メートルほど先にあるドーム状の空間の天井に広がる土ボタルです。全ての照明を落として見上げれば、満天の星空のように天井が発光。自然の神秘と呼べる景観はタスマニアでもここで見ることができません。マラクーパ鍾乳洞は年間を通じ気温10度前後と、暑い夏には打ってつけの観光地。ぜひ足を延ばしてみてください。

花のある生活
—flower in life—

Yoshimi
いけばな作家
Web: 7elements.me



真上から撮影された作品のハイブリッドスターチスやホットチェリー（カラーの花）の赤色と、それらの緑の茎は、クリスマス・シーズンを華やかに演出してくれます

第54回 輪

年の初めに恵美須神社にお参りしたのがつい先日のことのように、今年も年の瀬がすぐそこまで近づいてきました。

えべっさんの愛称で親しまれている京都祇園の恵美須神社では、縁起ものの飾り「人気笠」が売られており、私もその雅やかなフォルムに惚れ込んで購入し、稽古場に飾りました。人の形をした紙が花笠のような円形の中に収まり、「人気大よせ」と書かれ、人が集まることや商売繁盛の願いが込められています。

1年を振り返ってみると、新春能に始まり、クラシック音楽、踊り、新能と伝統芸能を鑑賞する機会が増えました。また、京都へいけばなの稽古に

行く傍らで、神社仏閣を参拝し、仏教美術の美しさに触れる機会も増えてきました。

何か1つのことに集中して学んでいくためにも、あらゆる視点から考えられる能力は強みであり、自信にもつながっていくように思います。

特にいけばなは、上下左右から見ても魅力があり、表現の幅を広げていくためにも、芸術分野全般に視野を広げて鑑賞することに価値を感じます。

以前、私の作品について「これは上から見ると面白い」と言われました。確かに、たくさんの茎の線が、糸が折り重なっているように見えて、別の視点からの美しさを感じられました。

いけばなの魅力は、見る角度や見る人によって心に響くところが違っていて三者三様です。だからこそ花をいける側も面白く、大勢の人に見て頂きたいと思うのです。

今年は恵比寿さんのご利益でしょうか、人が集まりにぎやかに過ごせた1年でした。伝統芸能を知ることが豊かになり、また、感じたことを他者と共有することにより、感情の結び付きが構築されて、人の輪が広がって行くように思います。

心願成就したえべっさんの「人気笠」は、年々大きな笠に買い替えて行くそうです。人の輪も、心の輪も、良い円が大きく広がって行く2024年でありますように。

出倉秀男の日本料理と歩んだ豪州滞在記

（オーストラリアでの日本食の変遷を辿る）

其の六拾巻

豪州での緑茶栽培を未来へ（国太楼オーストラリア）



シドニーから北に車で1時間弱のマンガロープ・マウンテンに茶畑が広がり、そこで有機栽培による緑茶の製造・販売が行われていることをご存知でしょうか？

オーストラリアは広大な土地と資源を生かした新たな農産物の発展に力を注いでおり、国太楼は、第一次産業省 (NSW Department of Primary Industries) との日本茶の共同研究を開始し、その後1997年に KUNITARO Australia を設立。2004年にマンガロープ・マウンテンに茶畑農園を創立しました。

スタッフ（茶師）の小ノ澤昭夫さんは当時を振り返り、初めてマンガロープ・マウンテンに連れて来られた時、そこはまだ雑木林で、「こんな所でお茶の栽培を!？」という第一印象だったそうです。「最初の仕事は茶園造成でした。木々を伐採して大きな切株や根を掘り起こし、焼却。測量してなんとか畑のような平地にしました。そして、雑草の根を取り除き、石を運び出し、灌水設備を設置して、ようやく定植できるような畑になりました」と小ノ澤さん。「やぶ北」と「さやまかおり」の苗が成長し、茶畑が綺麗にうねり広がる現在の農園を見ると、ずっとそこに存在していたように思えます。しかし多くの時間と努力からできたことを知ると胸が熱くなります。

オーストラリアの土地の多くは砂質土壌で、小ノ澤さんは「さらさらのビーチにお茶を植えるような感じで、水はすぐに浸透します。しかも年間雨量は静岡県のおよそ半分」と言います。

この周辺にあるピーツ・リッジ (Peats Ridge) はミネラル・ウォーターの産地として知られるほど良質な水に恵まれ、茶畑にとっては最良の条件。茶畑ではそれぞれの畝にホースを設置し、地下水をくみ上げて灌水も行っています。しかし砂質土壌のため、肥料成分を保持できるほどの容量がなく、毎年緑肥の種をまいて生育し、それを堆肥と一緒に土壌にすき込んで、土壌内に有機物を補給するなどの有機的管理を続け、オーガニック認証機関の実地審査を受け有機栽培を維持しているそうです。

1997年から「やぶ北」と「さやまかおり」の幼木の定植が始まりましたが、その年の夏の雹や40度を超える猛暑により幼木の60%を喪失するという大被害が出たことも。小ノ澤さんは「日本では3月に定植をするので、オーストラリアでも春が定植時期と捉えて行いましたが、こちらではすぐに夏になり枯死する苗が大量に出てしまうなど、試行錯誤の連続でした」と振り返ります。

しかし翌年、3ヘクタールの「やぶ北」畑を造成し、残る半分の農地も引き続き開墾作業を続け、2012



左から小ノ澤昭夫さん（茶師）、オーナーのYuri & Bill Atkinson夫妻、筆者、伊藤元美さん（茶師）

年には農園内に荒茶工場を落成しました。16年には碾茶ラインを設置。工場を増設して有機碾茶（抹茶の原料）の生産を開始しましたが、19年、先代中村国太郎社長が逝去。更には20年からのコロナ禍により、日本の国太楼は豪州での茶事業から撤退することになりました。

KUNITARO Australiaは存続の危機に立たされますが、現在のオーナーであるYuri & Bill Atkinson夫妻が熱意を受け止め、22年、新生KUNITARO Australia / Green Tea Estateを設立。16年から中止していた煎茶の生産を再開したのです。

茶樹の樹勢も回復しており、煎茶も碾茶も高品質なお茶を生産。先代の中村社長のモットー「消費者尊重。安全安心を第一とし、買いやすく、使いやすい、価値ある健康的な商品を作る」を引き継ぎ、食品安全マネジメント・システムを導入した日本の製茶工場では上げ工程を行い、オーストラリア市場で展開しています。

これまでの道のりは容易ではなかったものの、50年後、いや2、3年後にはオーストラリアにおける緑茶市場を変えてしまう存在になり得るかもしれません。

20年の豪州茶の研究を経て、ようやく味、色などが静岡のお茶の域に達するかという品質の物ができ上がったそうです。丹精込めて育てられ、日本の技術が生み出したKUNITARO Australiaのお茶をぜひお試しください。

●Green Tea Estate/KUNITARO Australia
Web: www.greenteaestate.com

出倉秀男（憲秀）

料理研究家。英文による日本料理の著書、Fine Arts of Japanese Cooking, Encyclopaedia of Japanese Cuisine, Japanese Cooking at Home, Essentially Japanese他著書多数。Japanese Functions of Sydney代表。Culinary Studio Dekura代表。外務大臣表彰、農林水産大臣賞受賞。シドニー四条真流師範、四條司家師範、四條司家公認天日大膳宗匠、全国技能士連盟師範、日本食普及親善大使。2021年春の叙勲で日本国より旭日双光章を受章





見る人にも涼を感じさせる夏の着こなし

ユリのアンティーク夏着物



きもの日和

Styling vintage kimono
in Melbourne

Wardrobe: Kazari + Ziguzagu (W: kazari.com.au)
Stylist: Sala Okabe (W: salaokabe.com)
Photographer: Rina Kakioka (W: rinasmilephotography.com)
Hair and Makeup: Mio (Instagram: @luce.hmua)
Model: Milly (Instagram: @milly___coffee)

夏らしい風がさわやかに吹き抜ける季節になると、そろそろ着物も夏支度のころとなります。

夏の着物という浴衣を思い浮かべる人が多いかもしれませんが、レストラン・ディナーなど、もう少しフォーマルな場にはしっかりと中に長襦袢を着て、紵や、紗といった透ける素材の着物を重ねた、少しドレスアップしたスタイルが1歩先を行く上級者のおしゃれをすてきに演出します。

今回、涼しげな装いながらもレトロな豪華さもあるアンティーク着物のスタイリングをご紹介します。

ユリの柄が描かれた紵の小紋は昭和初期に作

られた物でしょうか。大胆なデザインながらも上品にまとまった染色や柄行は、現代ではなかなか見られないアンティーク着物ならではの魅力があります。アンティーク着物は現代の着物より少し袂が長めなことが多いですが、柔らかに風に揺れる袖が、夏の着物姿により一層の涼しさを演出してくれます。

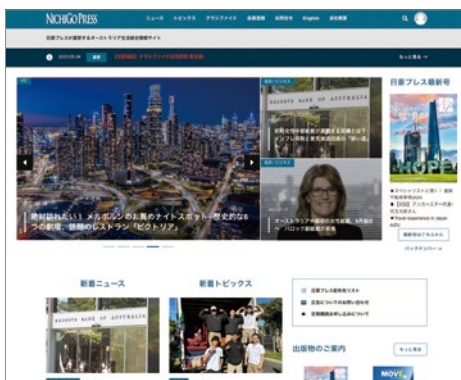
半衿はぜひたくな、刺繍が施された紵の刺繍衿。こちらも同じく透ける素材でそろえ、刺繍をたっぷり見せるように着付けるのが、アンティーク着物を格好良く見せるポイントです。スタイルのアクセント

となる帯は透け感のある黒の夏の名古屋帯。そこに赤の帯締めを1本差し色として入れるだけで全体が引き締まります。

なかなか暑い時期ではありますが、凛とした着姿が見る人にも涼を感じさせる着物のおしゃれ、皆さんもぜひ挑戦してみてください。

Sala Okabe

着物の着付け、スタイリング、着物レンタル及び販売をする着物スタイリスト。インスタグラムなどで新しい着物スタイルの提案や海外で着物を楽しむアイデアを紹介している。Instagram: @kimono_salaokabe



オーストラリアの最新ニュースを日本語で読もう！

日豪プレスが運営する、オーストラリア生活情報サイト | NICHIGO PRESS ONLINE

nichigopress.jp

日々変わりゆく豪州の「今」を「NICHIGO PRESS ONLINE」で学ぼう！
求人・住まい・マーケットのクラシファイドも好評掲載中

広告・記事掲載のご希望・お問い合わせはnpsales@nichigo.com.auまで



0000NICH_7

Chairperson	
作野善教	Yoshinori Sakuno
CEO/Editor in Chief	
馬場一哉	Kazuya Baba
Art Director	
脇村淳子	Junko Wakimura
Editors	
石井ゆり子	Yuriko Ishii
原田 紇	Tadasu Harada
ジョイ・ハンセン	Joy Hansen (Intern)
Sales & Marketing	
田代明日香	Asuka Tashiro
遠藤みどり	Midori Endo
山崎庸貴	Nobuyoshi Yamazaki
早山さくら	Sakura Hayama (Intern)
Digital Marketing	
クラークさと子	Satoko Clarke
Accountant	
ローズ・シェン	Rose Shen

NICHIGO PRESSについて

1977年10月、豪州初の邦字新聞として発行を開始。2017年、日豪の架け橋としての功績を讃えられ、日本国政府より「外務大臣表彰」を授与される。コロナ禍において、半年間の休刊を余儀なくされたが20年10月、新運営会社「日豪プレス・メディア・グループ」の元、フルカラーの雑誌として再創刊を果たした。

Since 1977



電子版のダウンロードはこちらから ▶ nichigopress.jp

Nichigo Press Media Group Pty Ltd

広告掲載、配送に関するお問い合わせはこちらまで
(Please contact us for inquiries about advertisements and delivery)
npsales@nichigo.com.au

本誌へのご意見・ご要望はこちらまで
(If you have any requests and opinions, please contact us below)
npsyd@nichigo.com.au

郵便事情により、配達日が遅れることがございます。ご了承ください。

<おことわり>NICHIGO PRESSは、掲載記事の正確さに万全を期していますが、掲載後にデータや情報に変更の可能性があることをご承知ください。また、広告、社外寄稿者の記事に関しては、内容が必ずしも社の見解を反映したものではないことをご断りいたします。なお、掲載記事、写真、図版の無断転載を禁じます。掲載される広告内容は連邦公正取引法（1974年）及びニュー・サウス・ウェールズ州公正取引法（1987年）、著作権法（1968年）及びこれらの法律に類似する法律の規定に違反するものではないことを条件にしていますが、広告の内容や信ぴょう性に関する責任は負いかねますのでご了承ください。

編集後記

父親の転勤で札幌に住んでいた小学校時代、冬はシーズンパスを購入しほぼ毎日のように市内のスキー場に足を運んでいた。おかげでスキーは僕の中でもとりわけ得意なスポーツとなり、大学ではスキー・チームに所属。大会での好成績を目指し、雪山での住み込みのアルバイトをしながらトレーニングに励んだ。文筆が得意だったこともあり就職活動時には出版社への就業を目指したが、シーズン中30日以上雪山にいた生活が捨てがたく、出版社での就業、更に雪山にもいたいというわがままな選択肢として、スキー雑誌を出版している会社に就職。しかし6年後、キャリア構築やなんだかんだ思うところがあり退職。その後もプレーヤーとして目標を定め、年間を通してそれなりの日数は滑っていたが、来豪であきらめることに。しかし2017年、満を持して当地で英字スキー雑誌『jSnow』を立ちげ、僕は再び日本の雪山で仕事をするようになった。コロナ禍でバイリンガル・コンテンツとして出した『jSnow』も、配布に回ったショップ店員の反応は上々。好きこそものの上手なれではないが、やはりここが僕の得意とするフィールドなのだ。来年5月いよいよ英字スキー専門誌『jSnow』は完全復活。乞うご期待。

（馬場）

先日、シドニーへRADWIMPSのコンサートを見に行った。日本のバンドがオーストラリアに来ることは滅多にないため、とても楽しみだった。コンサート会場「Hordern Pavilion」に開園2時間前に到着したが、すでに大行列。ステージの近くから見るためや、RADWIMPSのグッズを手に入れるために早く集まるほど、オーストラリアには熱心なファンが多いことが見受けられた。新海誠監督の世界的に有名な映画の主題歌を歌っているという影響も大きいだろう。これからもっと日本のバンドをオーストラリアで見るのができたらうれしい。

（ハンセン）

大学を卒業後ワーキング・ホリデーのために来豪し、日本での社会経験がないまま日豪プレスのインターンに応募し、始めてから約8か月。自分のやりたいことを口に出して少しずつ挑戦していたら、初めてのメルボルン旅行でハリオのオープニング・パーティーの取材をすることができ、それが記事になり、メルボルンで撮影した写真が表紙に使われることになった。出版関係のバックグラウンドが何もない私でも、やりたいことができてそれが目に見える形になり、驚きと共にとてもうれしく感じている。

（早山）

「NICHIGO PRESS」定期購読のお知らせ

NICHIGO PRESSをご自宅までお届けします！

NICHIGO PRESSはデジタルでもお楽しみ頂けますが、上質な購読体験を提供すべくページをめくる際の質感など紙質にもこだわっております。ぜひ、この機会に誌面の定期購読をご検討頂けたら幸いです。

お申し込み方法 NICHIGO PRESS定期購読お申し込みはこちらから ▶
Web: nichigopress.jp/subscriptions

購読料

オーストラリア国内：12回分\$110、6回分\$66
日本国内：12回分\$380、6回分\$190



お問い合わせは、日豪プレスまでお気軽にどうぞ。
Email: npsales@nichigo.com.au

オーストラリアの最新ニュース、イベント情報をFacebookでフォローしよう！

www.facebook.com/NICHIGOPRESS
Facebook内「NICHIGOPRESS」で検索！



日豪プレスのFacebookであなたの事業を紹介してみませんか？

幅広い方へ効果的なアピールが期待できます。フォロワー数1万3千人以上！
広告掲載のお問い合わせはnpsales@nichigo.com.auまで





一歩先を行くリーダー になりませんか

＼クリエイティブかつ革新的にチームや人を率いていくために必要なリーダーシップを養う/ エグゼクティブ・コーチングサービス

会社や組織の責任や期待を担い、日々活躍されている中で
このようなお悩みを抱えてはいませんか？

会社や組織のリーダーは、ポジションが上がるにつれて客観的かつ継続的なフィードバックを受ける機会が少なくなってきます。

- ✓ リーダーとしてメンバーとのコミュニケーションに悩んでいる
- ✓ 組織から求められている状況と自分自身の間にギャップを感じている
- ✓ 任されたプロジェクトを円滑に進めたいが思うようにいかない
- ✓ 与えられたポジションにプレッシャーを感じている

そこで、必要なのが適切なタイミングで適切なサポートを受けること

革新的なリーダーシップ力が身に付く、BrainMaidの「エグゼクティブ・コーチングサービス」で解決
すでに多くの企業が、リーダーシップを必要とするエグゼクティブやマネジメント層の方へコーチングを導入しています。
変化の激しい現代のビジネス社会、この先もコーチングの大きな需要が見込まれています。

身に付くスキル・知識

コーチングでしか
手に入れないもの



内面的スキル 自分自身における潜在能力を引き出す力



予測する力

判断や言動が組織全体にどのような影響を及ぼすかを予測する力



思考法

戦略・ネクストアクションに対して必要となる思考法



リーダーシップ

クリエイティブかつ革新的にチームや人を率いていくために必要なリーダーシップ



マネジメント力

部下のマネジメントや、組織の方向性の示し方

コーチング開始までの流れ

- 1 無料体験
コーチングを予約
- 2 コンサルティング
- 3 コーチング
チケットご購入
- 4 コーチング
セッション予約
- 5 コーチング開始

まずはお気軽に体験コーチングにご参加ください。

BrainMaid
www.brainmaid.net





W MELBOURNE

SEE THE WORLD DIFFERENTLY

W MELBOURNEはメルボルンの街並みをデザインコンセプトに取り入れたユニークかつラグジュアリーなライフスタイルホテルです。

メルボルン中心部フリンダーズレーンに位置する当ホテルは24時間利用できる屋内温水プール、純和食おまかせコースのWARABI(わらび)、世界デザイン賞受賞のバーキュリオスを含めた5つのレストラン、バーを併設。

全294室に標準装備のTOTOウォッシュレットをはじめ、快適なご滞在を提供するための設備を備えています。

W MELBOURNEで素晴らしいご滞在をお楽しみください！

ご予約はこちらから
wmelbourne.com



408 Flinders Lane, Melbourne

MEMBER OF MARRIOTT BONVOY™

